

千歳市の教育

2010



平成 24 年 4 月に開校を予定している勇舞中学校完成予想図

千歳市教育委員会

目 次

I	千歳市の概況	1
II	教育計画	
1	新長期総合計画	3
2	社会教育長期計画	7
III	教育目標	12
IV	教育行財政	
[1]	教育行政	
1	教育委員会委員	13
2	歴代教育委員会委員	14
3	教育行政の沿革	15
4	市内小中学校の変遷	19
5	教育委員会組織と事務分掌	23
[2]	教育財政	
1	教育予算	24
2	平成22年度主要事業予算	25
V	学校教育	
[1]	学校教育の主な施策	26
[2]	児童生徒数の推移	28
[3]	学校の概要	
1	小学校	29
2	中学校	46
3	幼稚園	55
4	高等学校	56
5	大学・各種学校	57
[4]	就学の助成	
1	就学援助	59
2	特別支援教育助成	61
3	奨学金制度	63
4	私立幼稚園助成	64
[5]	学校保健	
1	児童生徒の体位	65
2	災害共済給付	66
[6]	学校給食	67
[7]	生徒指導	69

VI 社会教育

〔1〕 社会教育の主な施策	71
〔2〕 社会教育委員・公民館運営審議会委員	72
〔3〕 社会教育の対象	72
〔4〕 社会教育事業	73
〔5〕 文化財	75
〔6〕 社会教育施設	83
1 千歳市立図書館	83
2 千歳公民館	85
3 千歳市民文化センター	87
4 千歳市民ギャラリー	90
5 千歳市民活動交流センター	92
6 千歳市青少年会館	93
〔7〕 財団法人千歳青少年教育財団	94

VII 社会体育

〔1〕 社会体育事業	98
〔2〕 学校開放事業	99
〔3〕 社会体育施設	
1 千歳市温水プール	100
2 千歳市スポーツセンター	101
3 千歳市開基記念総合武道館	102
4 その他の社会体育施設	103

VIII 教育委員会議の開催状況

105



千歳市章（昭和27年5月1日制定）

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

I 千歳市の概況

1 位置及び地勢

千歳市は、北海道の中南部、石狩平野の南端に位置し、札幌市、苫小牧市、恵庭市、伊達市の4市と、由仁町、長沼町、白老町、安平町の4町に隣接しています。

市域は東西に長く西高東低の地形になっています。西部は、国立公園支笏湖や溶岩円頂丘をもつ樽前山や札幌冬季オリンピックの滑降コースになった恵庭岳などの山岳地帯であり、中央部は、ほぼ平坦地で、市街地をはじめ工業団地、飛行場、自衛隊駐屯地、農用地などに、東部は丘陵地帯で農林業にそれぞれ活用されています。

千歳市の位置					
方位	町名	経緯度			
極東	東丘	東経	141°	52′	25″
極西	美笛	東経	141°	10′	30″
極南	美笛	北緯	42°	40′	44″
極北	新川	北緯	42°	57′	3″

千歳市本庁舎事務棟中央部の位置

東経 141° 39′ 17″ 北緯 42° 49′ 9″

広がり 東西57.20 km 南北30.40 km

面積 594.95 km²

2 気候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点に位置しています。夏季の最高気温は30℃程度、年間の平均気温は6℃から8℃であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。年間降水量は900 mmから1,000 mm程度で、降雪量も道内では少ない地域です。風向は一年間を通して南北に一定しているため、国内の他の空港が横風用滑走路を必要とするのに対して、千歳の空港は日本で唯一、平行の滑走路になっています。

3 人 口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治 13 年です。当時は、約 100 世帯 400 人余の宿場町にすぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は 5 千人前後の寒村でしたが、昭和 14 年に海軍航空隊の基地完成により人口が 1 万人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵師団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和 33 年 7 月 1 日には、北海道第 17 位の人口で道内 24 番目の市になりました。

昭和 40 年第 10 回国勢調査では 51,243 人、昭和 50 年第 12 回国勢調査では 61,031 人と、企業誘致や空港機能の充実により人口は伸び続け、昭和 60 年第 14 回国勢調査では 73,610 人、平成 7 年第 16 回国勢調査では 84,866 人、平成 12 年第 17 回国勢調査では 88,897 人、平成 17 年第 18 回国勢調査では 91,437 人に達し、道央の中核都市として順調に発展し続けています。

平成 22 年 4 月 1 日現在の千歳市の人口・世帯	
男	47,252 人
女	45,533 人
総人口	92,785 人
世帯数	43,777 世帯

(住民基本台帳)

4 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが溯る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年（1658 年）に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化 2 年（1805 年）、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。
千歳川の 清い流れ。
開拓 ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを
願い、この憲章をかかげて、力強く
前進をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、
快く 楽しい まちにしましょう。
1. きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。

(昭和 54 年 7 月 1 日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」を
イメージする市民権肖像

(平成 3 年 7 月 20 日建)

II 教育計画

II-1 新長期総合計画 抜粋 『学びあい心ふれあう都市づくり』

1 人の魅力でまちが輝く生涯学習都市

(1) 生涯学習のまちづくり

① 市民の主体的な学習活動の支援

市民の生涯学習への参加意識や関心を高めていくとともに、市民の主体的な学習活動を支援するための条件整備や学習機会の総合調整、市民・企業・行政の連携・協働体制の確立などを進め、総合的な生涯学習の支援システムの構築を図ります。

② 多様な市民活動のネットワークづくり

生涯学習活動やボランティア活動、NPO活動など、市民団体による各種活動へのハード・ソフト両面からの支援を進め、市民が主体となり相互に交流・連携した市民活動のネットワークづくりを促進します。

③ 人材の育成と活用

地域における人材の発掘を進めるとともに、まちづくりに対する自主性を持った市民の育成や活用に努めます。また、生涯学習の観点に立った職員研修や育成プログラムの開発に努めます。

④ 学校・社会教育の充実

生涯学習の基礎となる学校教育活動の充実を図るとともに、地域に根ざした生涯学習のため学校開放の推進に努めます。また、生涯各期に応じた学習機会などの拡充を図るとともに、学習の成果が活用できる環境づくりに努めます。

2 豊かな心と人間性を育む教育文化都市

(1) 幼稚園教育の振興

① 教育機会の充実

幼児期は人間形成の基礎を培う重要な時期であることから、就園を希望する幼児が適切な教育を受けられるよう地域の実態に応じた幼稚園教育の機会の拡充に努めます。

② 幼稚園教育の充実

関係機関の連携や教職員の資質向上、ゆとりある教育環境の整備などにより、幼稚園の教育内容の充実を促します。

③ 幼稚園・小学校の連携の推進

幼児の連続的な成長と健全な育成を図るため、幼稚園と小学校の連携を推進し教育機能の相互理解や交流の機会を充実します。

(2) 小中学校教育の充実

① 教育機会の拡充

児童生徒の良好な教育環境を確保するため学校規模の適正化を推進します。また、小規模校における教育内容の充実や、就学困難な児童生徒に対する就学支援など教育機会の拡充に努めます。

② 開かれた学校づくりの推進

学校教育と社会教育の融合化に努めるとともに、地域教育資源の活用など、地域に開かれ地域と一体となった学校運営を推進します。

- ③ 教育活動の充実
国際化・情報化・高齢化・価値観の多様化など社会の変化に対応した教育や児童生徒の心を育む教育を充実するほか、地域の特性と各学校の創意・工夫を生かした特色ある教育活動や環境教育などを推進します。また、一貫した学習指導や生活指導などを行うため、幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校における連携強化に努めます。
- ④ 快適な学校施設などの整備、充実
社会の変化に対応した学習活動を推進するための学校施設・設備などの整備を図るとともに、特色ある学校づくり、ゆとりとうるおいのある学習環境づくりを推進します。
- ⑤ 教職員の研修・福利厚生の充実
小中学校における実践的指導力の強化を図るため、教職員の研修の充実に努めるとともに、健康管理など福利厚生 of 充実を図ります。

(3) 保健・体育の充実

- ① 保健・体育の充実
生涯にわたり運動に親しめるよう学校体育の充実に努めるとともに、児童生徒の健康と安全を確保するため学校保健や安全教育を充実します。
- ② 学校給食の充実
給食センターの衛生管理体制の強化や施設・設備の整備を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食指導を推進します。

(4) 特別支援教育の充実

- ① 教育機会の拡充
児童生徒の障がいの程度に応じた教育機会の拡充と適正就学指導を進めるとともに、就学に向けた支援の充実に努めます。
- ② 教育活動の充実
訪問教育・交流教育・体験学習など障がいの程度に応じた多様な教育活動を推進するとともに、進路指導を充実し社会的な自立を促します。
- ③ 学校施設・設備などの整備
障がいのある児童生徒に配慮した施設・設備の整備など特別支援教育の学習環境の整備を進めます。
- ④ 理解・啓発活動の推進
特別支援教育や障がいのある児童生徒に対する理解と認識を深めるための啓発活動を推進します。

(5) 高等学校教育の充実

- ① 教育機会の拡充
就学対象生徒数の動向を見据え、高等学校の適正配置や入学定員の拡大などにより市内における高等学校の教育機会の確保に努めます。
- ② 時代や地域ニーズに応える教育の促進
学科や教育内容の充実などを促し、時代や地域ニーズに対応した高等学校教育の促進に努めます。

(6) 高等教育の充実

- ① 大学・試験研究機関の整備
千歳科学技術大学の整備拡充と教育機能・学術研究機能の充実に努めます。
- ② 多様な高等教育機会の確保
各種専門教育機関の育成や誘致など、多様な高等教育機会の確保に努めます。

(7) 社会教育の充実

① 学習機会の充実

生涯各期のライフスタイルに応じた学習機会の充実や家庭や学校、地域が一体となって生活課題・地域的な課題へ主体的かつ積極的な参画を促すなど、学習機会の提供を通じて生涯学習社会の実現に努めます。

② 学習支援体制の充実

学習活動を行う団体・グループなどの育成に努めるほか、生涯学習推進体制の確立や指導者など人材の育成・確保を図り、市民の主体的な学習活動を支援します。

③ 社会教育施設の整備・充実

市民が利用しやすい学習施設の整備や効果的な学校開放を推進し学習の場を確保するとともに、利用者に対する利便性の向上や各施設の有効利用を図るため、各施設間のネットワーク化を進めます。

④ 心を育てる家庭教育の充実

さまざまな学習機会や情報提供を通じて健全な家庭づくりと親の教育力の向上を促し、人間形成の基礎的な役割を果たす家庭教育機能の強化に努めます。

⑤ 公民館機能の充実

市民生活の向上に結びつく公民館活動を推進するため、多様化する学習ニーズや地域的な課題に対応する生涯各期における学習機会の拡大と学習内容の充実を図ります。

⑥ 図書館機能の充実

市民のニーズにあった情報を的確かつリアルタイムに提供していくため、生活情報や学習情報などの図書資料の拡充、郷土文献資料などの収集・公開の充実を図るとともに、情報提供システムや移動図書館の充実により、図書サービス利用の地域間格差の解消に努めます。

(8) 市民文化の創造

① 文化活動に親しむ機会の拡充

市民がゆとりとるおいのある心豊かな生活を営むため、既存の文化施設と事業の充実を図り、市民が多様な芸術文化活動に親しみ、楽しむことができる機会の拡充に努めます。

② 芸術文化活動の促進

市民による自主的な芸術文化活動を促進するため、創作活動や発表の場の提供などにより芸術文化関係団体・サークル等の活性化に努めるとともに、市民の芸術文化活動をリードする人材の育成など市民文化を担う人づくりを進めます。

③ 特色ある文化活動の推進

千歳市の都市特性における人材や自然、歴史などの風土を生かした特色ある芸術文化活動を育み「千歳らしい」文化の創造をめざします。

(9) 文化財の保護と活用

① ふるさと風土とのふれあいの推進

市民がふるさとに誇りを持ち心豊かに過ごせるよう、市民自らが地域の自然や歴史、文化とふれあえる場や機会を充実するとともに、地域の風土を生かした個性あるまちづくりを進めます。

② 埋蔵文化財の保護と活用

埋蔵文化財と各種開発事業の調和に努めるとともに、埋蔵文化財の適切な保護とその活用を図るため、発掘調査や各種研究事業を推進するほか保存管理および公開・展示の促進に努めます。

③ 伝統文化の保存と継承

アイヌ文化をはじめ、先人が築き伝えてきた伝統文化を市民生活のなかで保存・継承していくため、市民に対する理解・啓発に努めながら伝統文化の保護保存・調査研究・公開活用を進めます。

(10) スポーツの振興

① 生涯スポーツの推進

スポーツが持つ達成感や楽しさを多くの人々と共有できる生涯スポーツの推進をめざし、健康や安全に関する市民意識を啓発するとともに、地域における各種スポーツ活動組織の育成を図ります。また、多様化・高度化するスポーツニーズに対応するため、広域的視野に立ったスポーツの振興に努めます。

② スポーツ指導體制の充実

多様化する市民のニーズに応えながら生涯スポーツを振興していくため、豊かで活力のあるスポーツ活動を支援する相談・指導體制の充実を図るとともに、新たなスポーツ開発・振興に努めます。

③ スポーツ施設の整備

市民の日常的なスポーツ活動を促進していくため、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでも・どこでも・だれでもがスポーツに親しむことができる多様な施設の整備を推進するとともに、施設運営の弾力化や施設間のネットワーク化など各種施設の利便性の向上に努めます。

(11) 青少年の健全な育成

① 青少年健全育成活動の推進

家庭や学校、地域が一体となって青少年の健全育成活動を推進するとともに、青少年団体などの育成や地域活動への参加の促進、活動の場の整備などに努めます。

② 青少年を取り巻く社会環境の整備

家庭や学校における青少年への指導、地域住民による青少年健全育成の観点から、地域が一体となり青少年を取り巻く有害環境の浄化活動を推進します。

③ 青少年の非行防止と指導體制の充実

青少年指導センターの充実や指導者の育成を図るとともに、関係機関・団体などの連携のもと、青少年の非行防止のための相談・指導體制を充実します。

④ 自然環境を生かした体験活動の推進

青少年活動の拠点として、(財)千歳青少年教育財団との連携協力を通じて、自然教育力を生かした野外活動プログラムの開発や多様な体験活動機会の充実を図るとともに、教員との人的交流など学社融合を促進します。

Ⅱ－２ 社会教育長期計画（千歳市第3期社会教育長期計画から抜粋）

基本目標 『 学び ふれあい 個性を培い 世紀を拓く創造性を育む 』

1 推進目標（家庭教育・青少年教育分野） 「豊かな心、生きる力を育む」

（1）子育て領域重点目標

心身豊かな子どもの成長を育む家庭・地域の教育力の向上を推進する

- 家庭教育に関する学習機会の充実
 - (方 策) — 親の自覚と教育力を高める学習機会の充実
 - (方 策) — 子どもの発達段階に応じた子どもと親の学習機会の充実
 - (方 策) — 父親の参加を促進する学習機会の充実
- 地域での学習活動の促進
 - (方 策) — 関係機関との連携による家庭教育に関する学習活動の促進
 - (方 策) — 親子で地域における交流を深める活動の促進
 - (方 策) — 子育てを支援する人材の発掘と育成
- 地域社会における家庭教育環境の整備
 - (方 策) — 地域の学習活動に対する指導・助言・相談体制の整備
 - (方 策) — 子育てに関する情報提供や育児グループの学習活動の場の整備
 - (方 策) — 関係機関との子育てネットワークの整備

（2）子ども領域重点目標

豊かな心を育む少年の主体性・創造性を養う

- 生きる力を育てる学習機会の充実
 - (方 策) — 地域の特色を生かした体験学習の充実
 - (方 策) — 異世代・異年齢による学習と交流機会の充実
 - (方 策) — リーダー養成など少年の自主性や主体性を育む学習活動の充実
- 少年の社会参加の促進
 - (方 策) — ボランティア活動など少年の自主的・主体的な地域活動の促進
 - (方 策) — 少年団体活動など交流と参加意欲を高める地域活動の促進
 - (方 策) — 子どもの地域活動を支える指導者の育成
- 地域で子どもを育てる環境の整備
 - (方 策) — 子どもの活動を支える関係機関とのネットワークの整備
 - (方 策) — 子ども活動支援センターの情報提供・コーディネート機能の充実
 - (方 策) — 探究心を育む子どもの居場所の整備

(3) 青年領域重点目標

明日の地域を担うたくましい青年を育成する

- 次代を担う青年の学習機会の充実
 - (方 策) 郷土愛を育む学習機会の充実
 - (方 策) 社会の変化に対応した資質を育む学習機会の充実
 - (方 策) 職業観や勤労観を育む学習機会の充実
- 社会参加の意欲を高める青年活動の促進
 - (方 策) ボランティア活動など青年の活力を生かした地域活動の促進
 - (方 策) 青年の世代や地域を越えた交流活動の促進
- 青年の自発性を育む学習環境の整備
 - (方 策) 青年活動の情報提供とコーディネート機能の整備
 - (方 策) 青年の実態に合わせた学習と交流の場の整備

2 推進目標（成人教育分野） 「市民の学習機会や社会参加の意欲を支える」

(1) 成人一般領域重点目標

現代的課題に対応する学習機会の拡充と豊かな地域づくり

- 学習の成果が活用できる学習機会の充実
 - (方 策) 現代的課題に対応する専門的な学習機会の充実
 - (方 策) 地域課題に対処する実践的学習活動の充実
 - (方 策) 市民力を育む多様な学習機会の充実
- 豊かな地域づくりをめざす学習活動の促進
 - (方 策) 郷土愛と協働の輪を広げる学習活動の促進
 - (方 策) 市民の創意・工夫を生かした学習活動の促進
 - (方 策) 学習の成果を地域社会に生かす社会参加活動の促進
- 学ぶ意欲を高める学習環境の整備
 - (方 策) 学習活動を支援するコーディネート機能の整備
 - (方 策) 総合的な学習情報の収集・提供体制の整備
 - (方 策) 学習のネットワークと市民の学習活動の場の充実

(2) 女性領域重点目標

地域や生活課題の解決を図るための自らの社会参加を進める

- 女性の社会参加を促進する学習機会の充実
 - (方 策) 女性のエンパワメントを育む学習機会の充実
 - (方 策) 男女平等の意識を高める家庭教育支援の充実
 - (方 策) 男女平等と男女共同参画の意識を育む学習機会の充実
- 参加と交流を広げる女性活動の促進
 - (方 策) 世代を越えた参加と交流の促進と新しい時代を担うリーダーの育成
 - (方 策) 女性のエンパワメントを生かしたボランティア活動の促進
- 男女がともに社会に参画する学習環境の整備
 - (方 策) 女性の社会参加を支援するネットワークの整備
 - (方 策) 男女がともに社会参画するための情報提供・相談体制の整備

(3) 高齢者領域重点目標

高齢者の生きがいづくりと積極的な社会参加を促進する

- 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
 - └ (方 策) — 生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
 - └ 多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
- 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
 - └ (方 策) — 高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
 - └ 地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
- 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
 - └ (方 策) — 高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
 - └ 地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

3 推進目標（学習環境分野） 「学びあえる環境づくりを推進する」

(1) 公民館領域重点目標

生涯いつでもどこでも学習できる環境を整備・充実する

- 市民の自治能力を高める学習機会の充実
 - └ (方 策) — 学習要求や公共の役割を意識した教室の充実
 - └ いつでもどこでも学べる学習活動の充実
- 市民の自主的・創造的な学習活動の促進
 - └ (方 策) — 自主的なサークル活動の支援と学習の場の提供
 - └ 学習成果の活用場の提供
- 市民の学習活動を支える学習環境の整備
 - └ (方 策) — 地域の学習活動を支える指導者の育成
 - └ 関係機関とのネットワーク化とコーディネート機能の充実

(2) 図書館領域重点目標

図書館サービスネットワークの形成と地域情報拠点機能の整備を推進する

- 読書意欲を高める図書館機能の全域サービス化の充実
 - └ (方 策) — 図書館分館機能の充実
 - └ 図書の検索・閲覧システムの充実
 - └ 移動図書館機能の充実
- 市民の自主的な図書館活動の促進
 - └ (方 策) — 子ども読書活動の推進
 - └ 生活や郷土に関する専門図書や文献資料の収集と公開展示の促進
 - └ 学校図書館や市民団体による図書館活動の促進
- 図書館情報システムの整備
 - └ (方 策) — CD-ROMなどが活用できる情報網と図書資料の電子化の整備
 - └ 職員の専門性の確保・向上による情報活用やレファレンス機能の整備

(3) 市民文化センター・市民ギャラリー領域重点目標

市民の創造的な文化活動を推進する学習環境を整備する

- 優れた文化芸術に接する機会の充実
 - └ (方 策) — 優れた文化芸術に接する自主文化事業の充実
 - └ 各種展覧会など鑑賞機会の充実
- 市民の自主的・創造的な文化活動の促進
 - └ (方 策) — 市民の主體的な創作・発表活動の促進
 - └ 世代や地域を越えた文化芸術交流の促進
- 地域の特色を生かした文化活動の支援体制の整備
 - └ (方 策) — 文化活動の情報提供・相談体制の整備
 - └ 情報機器などを活用した学習を支援する環境の整備

4 推進目標（文化分野） 「個性豊かな芸術文化の創造と文化財の保護・活用を推進する」

(1) 文化領域重点目標

文化意識と郷土の理解を深め、地域に根ざした文化を創造する

- 新しい文化を受け入れ育てる文化芸術活動の促進
 - └ (方 策) — 広域的な文化交流の促進
 - └ ジャンルを越えた交流の促進
 - └ 青少年の文化芸術活動の充実と学校教育などとの連携の促進
- 地域文化を大切にす文化芸術活動の支援
 - └ (方 策) — 郷土の理解を深め、認め合う文化芸術活動の充実
 - └ 世代間交流による文化伝承活動の促進
 - └ 地域文化活動への参加促進と人材の発掘・担い手の育成
- 文化環境の整備
 - └ (方 策) — 文化芸術活動の支援体制の整備
 - └ 文化芸術にふれあう場の充実
 - └ 地域の文化芸術の振興に関わる基盤の整備

(2) 文化財領域重点目標

市民が郷土の豊かな個性とふれあいができる文化財を整備する

- 千歳らしさを知る文化財とふれあう環境の充実
 - └ (方 策) — 郷土資料館の整備と資料収集の充実
 - └ 文化財とふれあう学習機会の充実
 - └ 史跡の整備と活用の促進
- 伝統文化の保存・継承の促進
 - └ (方 策) — 伝統文化の保存・継承と学習活動の促進
- 埋蔵文化財の保護・整備
 - └ (方 策) — 埋蔵文化財の保存と活用
 - └ 埋蔵文化財の調査研究と適切な保存管理を推進する施設の整備

5 推進目標（スポーツ振興分野） 「市民のだれもが親しめる生涯スポーツを支える」

（1）スポーツ振興領域重点目標

達成感や楽しさを多くの市民と共有し、活力ある地域の形成と生涯にわたって豊かな生活を営むことのできる生涯スポーツを推進する

- スポーツ・レクリエーション活動の充実
 - └ (方 策) — 社会の変化や市民のライフステージに対応したスポーツの参加機会の創出
 - └ 日常生活や地域と結びついたスポーツ・レクリエーション活動の促進
- スポーツ活動の指導体制の確立と地域スポーツ団体の育成
 - └ (方 策) — スポーツ指導者の養成・確保と適正配置の促進
 - └ 地域における各種スポーツ団体・指導者の育成支援と連携
- スポーツに関する事業の実施
 - └ (方 策) — 各種スポーツ情報の収集・提供体制の充実
 - └ スポーツで優秀な成績や功績があった個人・団体への顕彰

（2）温水プール領域重点目標

市民の体力づくり・健康増進環境の形成と幅広い世代の交流の場を充実する

- する水泳の普及の充実
 - └ (方 策) — 初心者利用の拡大と自主事業の積極的な展開による、する水泳の充実
 - └ 体力づくり・健康増進を行う水泳愛好者の支援の充実
- 環境の整備
 - └ (方 策) — 民間への管理委託による管理体制の整備
 - └ 家族連れで楽しむことのできる環境づくり

（3）社会体育施設領域重点目標

いつでも、どこでも、だれもが自分の技量に応じてスポーツを楽しめる体育施設を整備する

- 社会変化と市民ニーズに対応した体育施設の整備・充実
 - └ (方 策) — 市民ニーズに対応した計画的な施設の整備
 - └ 新規施設と老朽化施設の整備
 - └ 学校施設開放の推進
- 体育施設の運営の充実
 - └ (方 策) — 指定管理者による施設運営の促進
 - └ 施設機能の有効活用の促進

Ⅲ 教育目標

平成22年度教育推進の重点

地域とともに、新しい時代を切り拓く力と思いやりの心を育む教育の推進

主な施策

学校教育の主な施策

- 1 確かな学力の定着
- 2 特色ある学校づくりの推進
- 3 豊かな心の育成
- 4 安全・安心な教育環境の充実
- 5 健やかな心身を育む健康教育
- 6 特別支援教育の充実
- 7 学校環境の整備

生涯学習の主な施策

- 1 市民活動交流センター“ミナクール”の運営推進
- 2 ひと・まちづくりリーダーの養成

社会教育の主な施策

- 1 豊かな心と生きる力を育む家庭教育・青少年教育の充実
- 2 市民が学びあえる学習機会の充実
- 3 個性豊かな芸術文化の創造と文化財の保護・活用の推進
- 4 活力ある生涯スポーツの推進と快適な施設整備

IV 教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員会委員

委員長 山田 律子 平成17年10月1日就任

委員長職務代理者 佐々木 義朗 平成18年10月1日就任

委員 阿部 弓枝 平成19年10月1日就任

委員 明石 光正 平成20年10月1日就任

教育長 小林 義知 平成13年10月1日就任



(平成22年9月30日撮影)

佐々木委員 阿部委員 明石委員
小林教育長 山田委員長

2 歴代教育委員会委員

委員長 (任命年月日)	委員 (任命年月日)	委員 (任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10.1 岸本 貞一 34.6.7 河野 有三 46.10.1 島倉 充平 60.10.1 伊藤 博邦 9.10.1 山田 律子 17.10.1 (在職中)	内村 ナツ 31.10.1 32.10.1 36.10.1 40.9.28 鎌倉 末吉 43.10.1 44.10.1 (46.4.7まで) 河野 有三 46.4.30 48.10.1 52.10.1 56.10.1 島倉 充平 60.10.1 元 10.1 5.10.1 伊藤 博邦 9.10.1 13.10.1 山田 律子 17.10.1 (在職中)	信田 信太郎 31.10.1 33.10.1 (34.5.13まで) 34.5.25 37.10.1 阿部 忠彦 41.10.1 高塚 興正 45.10.1 49.10.1 53.11.1 57.10.1 61.10.1 佐藤 嘉彦 2.10.1 (6.8.21まで) 三ツ野 仁 7.10.1 10.10.1 14.10.1 佐々木 義朗 18.10.1 (在職中)
委員 (任命年月日)	委員 (任命年月日)	教育長 (任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10.1 岸本 貞一 34.6.1 34.10.1 38.10.2 42.10.1 矢野 和子 46.10.1 50.10.1 54.10.1 寺山 恵美子 58.10.1 62.10.1 3.10.1 橋爪 光子 7.10.1 11.10.1 15.10.1 阿部 弓枝 19.10.1 (在職中)	高橋 三次郎 31.10.1 (34.5.13まで) 若木 キサ 34.7.3 35.10.1 (36.3まで) 鈴木 清子 36.3.31 39.10.1 藤本 敬一 43.10.1 47.10.1 51.10.1 信田 茂 55.10.1 59.10.1 63.10.1 今 清 4.10.1 8.10.1 竹嶋 勝利 12.10.1 16.10.1 明石 光正 20.10.1 (在職中)	菅原 恵一 31.10.1 (34.3.13まで) 半田 景明 34.6.16 35.10.1 39.10.1 43.10.1 47.10.1 (50.3.20まで) 宮澤 一成 50.6.1 51.10.1 55.10.1 59.10.1 佐藤 利雄 63.10.1 4.10.1 工藤 文夫 8.10.1 12.10.1 (13.9.30まで) 小林 義知 13.10.1 16.10.1 20.10.1 (在職中)

3 教育行政の沿革

(1) 沿革

年 月	主 な で き ご と
明治12 (1879) 年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める (現千歳小学校)
" 13 (1880) 年3月	千歳村に戸長を置き事務を行う (戸長役場開庁)
4月	千歳教育所創設
" 22 (1889) 年4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
" 28 (1895) 年3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる (現在地に校舎新築)
" 32 (1899) 年9月	長都に私立教育所設置 (現長都小学校)
" 33 (1900) 年6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置 (現駒里小学校)
9月	嶮淵簡易教育所設置 (泉郷小学校の前身)
11月	幌加簡易教育所設置 (幌加小学校の前身)
" 34 (1901) 年6月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
12月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
" 35 (1902) 年4月	近唐教育所設置 (協和小学校の前身)
" 39 (1906) 年9月	木臼簡易教育所設置 (中央小学校の前身)
大正元 (1911) 年10月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
" 4 (1915) 年4月	烏柵舞特別教授所設置 (水明小学校の前身)
" 5 (1916) 年10月	二級町村制施行 (烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
" 6 (1917) 年4月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
12月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
" 7 (1918) 年6月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
12月	新嶮淵尋常小学校開校 (東丘小学校の前身)
大正9 (1920) 年12月	千歳尋常小学校に高等科併置
" 12 (1923) 年4月	千歳尋常小学校根志越分教場設置 (現千歳第二小学校)
" 13 (1924) 年4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
" 15 (1926) 年4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
" 15 (1926) 年5月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
昭和6 (1931) 年4月	釜加特別教授場設置
" 7 (1932) 年	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
" 11 (1936) 年11月	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
" 12 (1937) 年10月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授所設置
" 14 (1939) 年4月	千歳鉦山特別教授所が千歳鉦山尋常高等小学校となる
" 15 (1940) 年6月	一級町村制施行
" 16 (1941) 年4月	長都尋常小学校に高等科併置
" 17 (1942) 年5月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
" 21 (1946) 年4月	町制施行 (人口 13,994 人)
11月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
" 22 (1947) 年4月	蘭越国民学校開校
5月	法令改正 (学校六・三制発足) により校名変更
6月	長都、千歳鉦山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置 (長都、千歳鉦山、泉郷各中学校の前身)
12月	千歳中学校木臼分校設置 (中央中学校の前身)
" 23 (1948) 年6月	千歳中学校開校
10月	幌加中学校開校 (小学校に併置、東千歳中学校の前身)
" 24 (1949) 年1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場設置 (現支笏湖小学校)
4月	千歳第三小学校開校
" 25 (1950) 年3月	道立野幌高等学校千歳分校設置
4月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
12月	千歳中学校烏柵舞分校設置 (小学校に併置、水明中学校の前身)
" 26 (1951) 年3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が町立千歳高等学校となる
" 27 (1952) 年4月	千歳中学校鉦山分校が千歳鉦山中学校となる
10月	千歳中学校阿宇砂里分校設置 (小学校に併置、現駒里中学校)
11月	千歳中学校が東雲町4丁目から栄町4丁目に移転
" 28 (1953) 年5月	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる
" 29 (1954) 年4月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、嶮淵小学校・同嶮淵分校、近唐小学校、新嶮淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
10月	幌加中学校が東千歳中学校となる
11月	千歳町教育委員会委員選挙執行
" 28 (1953) 年5月	千歳町教育委員会発足
" 29 (1954) 年4月	北栄小学校開校
	千歳町立千歳高等学校道立移管
	千歳公民館開館

年 月	主 な 出 来 事
昭和29 (1954) 年5月	千歳町体育協会発足
" 30 (1955) 年4月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
5月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
" 31 (1956) 年1月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	末広小学校開校
" 32 (1957) 年4月	緑小学校開校
8月	青葉中学校開校
" 33 (1958) 年7月	市制施行(人口 48,443 人)
" 34 (1959) 年4月	水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)
11月	キウスのチャシ重要文化財の指定を受ける
" 35 (1960) 年5月	千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進小学校に分離独立)
" 37 (1962) 年4月	千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進中学校に分離独立)
10月	市民会館開館
" 39 (1964) 年3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合
4月	水明中学校藤の沢分校を本校に統合
9月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
10月	ウサクマイ遺跡発掘調査
" 40 (1965) 年10月	学校給食センター開設
10月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
" 41 (1966) 年3月	水明中学校を千歳中学校に統合
4月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
" 42 (1967) 年1月	日の出小学校開校
3月	藤の沢小学校廃校
昭和43 (1968) 年3月	青少年健全育成都市宣言
4月	泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
7月	信濃小学校開校
12月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
" 44 (1969) 年8月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
12月	千歳市開基90周年記念式典
" 45 (1970) 年4月	青少年会館開館
6月	支笏湖青少年研修センター開設
12月	高台小学校開校
" 46 (1971) 年1月	スポーツ都市宣言
4月	東千歳地区スクールバス運行開始
4月	幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校
9月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
" 47 (1972) 年1月	「千歳神社境内釜加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
3月	真町中学校開校
9月	中央中学校を真町中学校に統合
" 48 (1973) 年1月	北進小学校に言語治療教室開設
4月	青葉中学校が根志越(現在地、豊里)に移転
5月	北海道千歳北陽高等学校開校(中央)
" 49 (1974) 年3月	北栄小学校に情緒障害児学級開設
4月	末広小学校が富丘(現在地)に移転
10月	学校給食センターが上長都に移転
11月	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
" 50 (1975) 年4月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
6月	人口6万人突破(人口60,200人)
8月	富丘中学校開校
12月	支笏湖自然の村開村
" 51 (1976) 年4月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
12月	北海道千歳北陽高等学校が北信濃(現在地、北陽)に移転
" 52 (1977) 年4月	千歳市青少年指標制定
" 53 (1978) 年3月	千歳中学校に言語治療教室開設
4月	祝梅小学校開校
6月	教育委員会事務局市庁舎に移転
10月	市立図書館開館
" 52 (1977) 年4月	「美々貝塚」「馬通看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定
" 53 (1978) 年3月	千歳鉱山小学校、千歳鉱山中学校閉校
4月	蘭越小学校を緑小学校に統合
6月	桜木小学校開校
10月	北進中学校に情緒障害児学級開設
12月	総合スポーツセンター完成
12月	千歳小学校開校百年記念式典
12月	「動物形土製品」千歳市文化財指定
12月	泉沢市民スキー場開設

年 月	主 な 出 来 事
昭和54 (1979) 年5月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
6月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
7月	千歳市民憲章制定
8月	千歳市開基百年記念式典
10月	「キウス周堤墓群」国の史跡に指定
「 55 (1980) 年7月	「泉郷獅子舞」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
「 57 (1982) 年2月	「蕨手刀」千歳市文化財指定
4月	(財)千歳青少年教育財団設立
「 58 (1983) 年2月	向陽台小学校開校
3月	人口7万人突破（人口70,051人）
11月	北進小学校に情緒障害児学級開設
「 59 (1984) 年4月	北海道都市教育長会開催
	市民文化センター開館
	北斗中学校開校
「 60 (1985) 年8月	第16回全国中学校選抜卓球大会開催
12月	ひびけ市民の「第9交響曲」発表
「 61 (1986) 年4月	千歳小学校に肢体不自由児学級開設
7月	青空運動公園（アスファルトリンク）完成
「 62 (1987) 年4月	向陽台中学校開校
5月	千歳市民球場完成
「 63 (1988) 年2月	市立図書館新築移転（青葉公園内）
4月	通学区域変更（末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町1・2丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ）
7月	青葉公園ピクニック広場完成
9月	夢ランドちとせ開催
平成元年 (1989) 年4月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
9月	千歳中学校に肢体不自由児学級開設
10月	第44回国民体育大会軟式野球競技会開催
11月	千歳市開基110周年記念式典
「 2年 (1990) 年8月	青空公園ふれあいセンター完成
12月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
「 3年 (1991) 年9月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
10月	障害児教育相談員設置
「 4年 (1992) 年9月	人口8万人突破
「 5年 (1993) 年3月	学校週5日制開始
5月	(財)千歳市体育協会設立
8月	開基記念総合武道館完成
「 6年 (1994) 年4月	中央小学校を千歳小学校に統合
8月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
9月	学校給食センターが祝梅に移転
「 7年 (1995) 年4月	北陽小学校開校（千歳の肢体不自由児学級を北陽小に移設）
5月	第24回全国中学校選抜剣道大会開催
8月	千歳サケのふるさと館開館
「 8年 (1996) 年4月	市民ギャラリー開館
5月	駒里水泳プール完成
8月	第39回北海道学校給食研究大会開催
「 9年 (1997) 年4月	青葉陸上競技場全天候型トラック及び管理棟全面改修完了
6月	第46回北海道公立小中学校事務研究大会（東北・北海道合同）石狩大会開催
「 10年 (1998) 年4月	泉沢小学校開校
7月	適応指導教室「おあしす」開設
10月	千歳高校全日制普通科が1学級増
「 11年 (1999) 年1月	向陽台小学校に情緒・知的障害児学級開設
3月	千歳市温水プール完成
4月	第47回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
8月	第38回北海道社会教育研究大会開催
11月	北陽小学校校舎増築
「 12年 (2000) 年9月	千歳第二小学校校舎増築
「 13年 (2001) 年4月	千歳高校に学科を新設(国際教養科・国際流通科)
11月	全道中学校卓球大会開催
「 14年 (2002) 年2月	千歳高校創立50周年記念事業実施
4月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
7月	学校評議員設置
「 15年 (2003) 年3月	長都小学校開校100周年記念式典
	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
	完全学校週5日制開始「総合的な学習の時間」開始
	人口9万人突破
	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター廃館

年 月	主 な 出 来 事
平成15年 (2003) 年4月	北栄小学校に知的障害学級、向陽台小学校に難聴学級、千歳中学校に情緒・知的障害学級開設
6月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
〃 17年 (2005) 年3月	長都小中学校閉校 支笏湖青少年研修センター閉所
6月	「北海道美々8 遺跡出土品 (1,164点)」国の重要文化財に指定
10月	千歳市の教育を考える市民会議設置
〃 18年 (2006) 年4月	国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を1才引き下げ 千歳第二小学校、東千歳中学校で2学期制の試行開始 市民文化センターがリニューアルオープン
5月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8月	千歳市民活動交流センター「ミナクール」オープン
11月	駒里小学校開校100周年、駒里中学校開校50周年記念式典
12月	末広小学校開校50周年記念式典
〃 19年 (2007) 年2月	千歳市の教育を考える市民会議から3つの目標、20の提言を受理
3月	第8回全国中学選抜卓球大会
10月	富丘中学校校舎増築 青葉中学校開校50周年記念式典
11月	富丘中学校の分離を決定
12月	緑小学校開校50周年記念式典 桜木小学校開校30周年記念式典
〃 20年 (2008) 年5・7月	市制施行50周年、ジュニアエイトサミット2008 千歳支笏湖の開催記念事業として市内小中学生約4,000人が参加し、環境をテーマとした「ちとせっこ未来フォーラム」を開催し、中学生代表がインターネットを通して世界へ向けて環境メッセージを発信
〃 21年 (2009) 年5月	サケのふるさと館開館15周年記念事業
6月	放課後こども教室のモデル事業を北栄小学校に開設
12月	平成24年4月に真町中学校と千歳中学校の統合を決定

(2) 教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日に教育委員会法が制定され、市町村については、昭和27年11月1日までに設置することとされました。教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれました。任期は4年ですが、最初の選挙における上位2人は4年、次の2人は2年で、2年ごとに半数の委員を改選するという規定でした。

本市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今与自郎、市村政五郎、2年任期の委員に中川要助、野沢栄三郎が選ばれ、さらに町議会選出の吉田信一の5名でスタートしました。11月1日第1回教育委員会が開催され、委員長に今与自郎、副委員長に中川要助を選出しています。その他、教育長として町教育民生課長の谷口好忠を任命し、教育委員会会議規則や教育委員会事務局組織規程等が決定されています。発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う不足教室の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになりました。昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長の佐藤勝蔵が招かれて教育長に就任しています。昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年間延長されました。この年、野沢栄三郎委員の辞任に伴い中村竹五郎が繰上当選により委員に就任し、更に、今与自郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷功男が委員に当選しました。議会側からは、新たに佐藤文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川要助が、副委員長には市村政五郎が選ばれました。昭和31年6月の第2回国会において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立(同年10月1日施行)に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することになりました。同年9月、第3回定例町議会において、五十嵐直蔵、信田信太郎、高橋三次郎、内村ナツ、菅原恵一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長に五十嵐直蔵、副委員長に内村ナツ、教育長に菅原恵一が選出されました。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていました。

4 市内小中学校の変遷

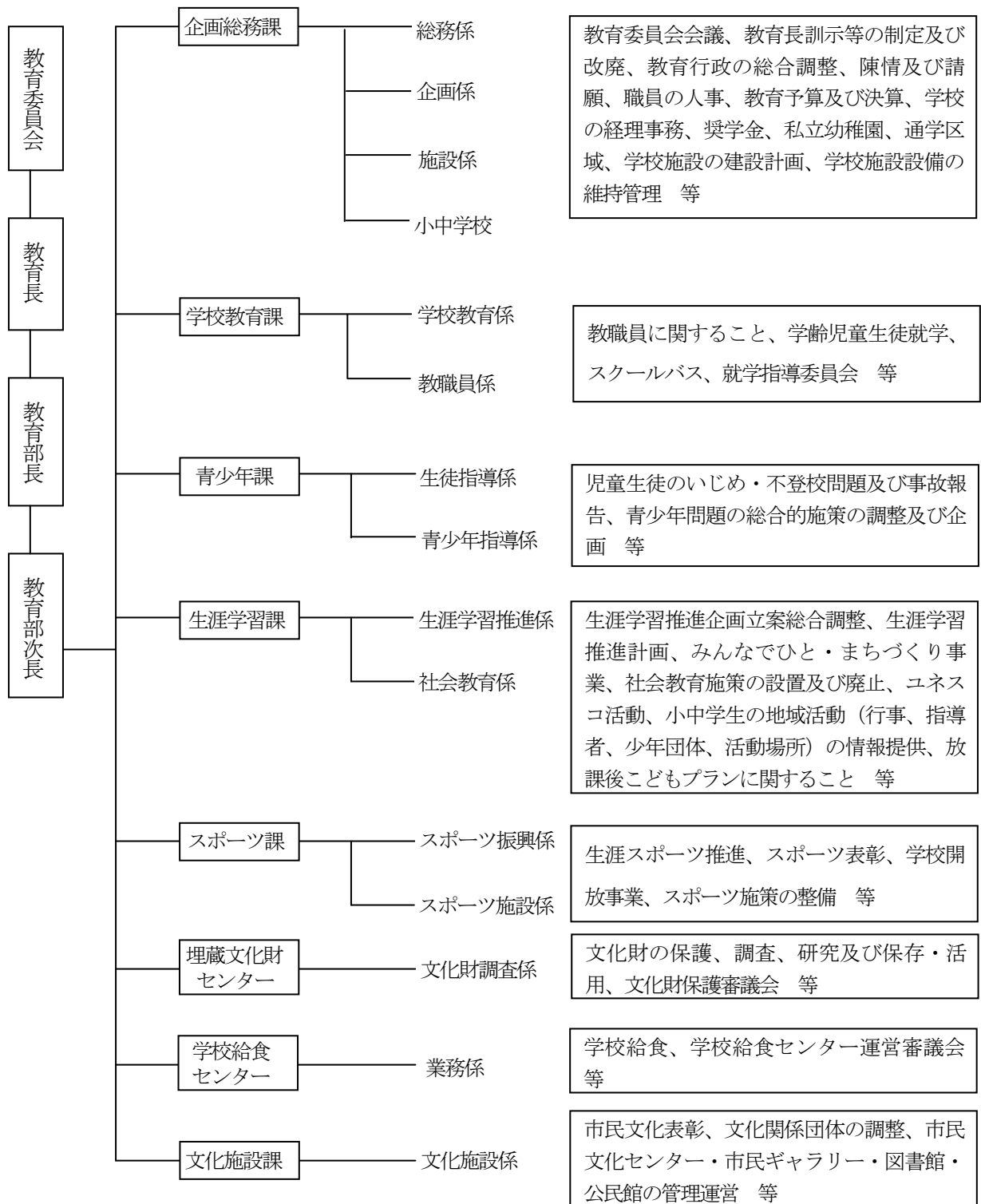
	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治 12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治 13.4.) 千歳教育所 ↓ (明治 22.) 千歳簡易小学校 ↓ (明治 28.) 千歳尋常小学校	(明治 31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治 33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治 39.9) 阿宇砂里簡易教育所	(明治 32.9) 私立教育所 ↓ (明治 33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治 34.6.3) 長都尋常小学校	(明治 33.6.8) 嶮淵簡易教育所	(明治 33.9.24) 幌加簡易教育所
	(大正 7.12) 高等科設置	(大正 6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校	(大正 15.5.1) 釜加特別教授場	(大正 6.4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置	(大正 5.10.25) 幌加尋常小学校
昭和	(昭和 16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳小学校	(昭和 16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和 22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 駒里小学校	(昭和 7)統合 ↓ (昭和 15.6) 高等科設置 ↓ (昭和 16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和 22.4) 長都小学校	(昭和 16.4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和 22.4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和 43.3.31) 第二小学校へ統合	(昭和 16.4) 幌加国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校
	(平成 5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成 17.3.31) 北陽小学校へ統合		
平成					

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉦山小学校
明治		(明治26年ころ) 説教所で寺子屋 ↓				
	(明治34.12.1) 近唐教育所 ↓	(明治35.4) 木臼簡易教育所 ↓				
大正	(大正6.4.1) 近唐尋常小学校 ↓	(大正6.4.1) 木臼尋常小学校 ↓	(大正元.10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置 ↓	(大正7.6.6) 新嶮淵尋常小学校 ↓	(大正9.12.13) 千歳小学校根志越分教場 ↓ (大正13) 根志越特別教授所 ↓	
			(昭和6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和11.11.30) 千歳鉦山特別分教場設置 ↓ (昭和16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和26.4) 水明小学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.3.31) 支笏湖小学校へ統合			
昭和	(昭和16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和22.4) 近唐小学校 ↓ (昭和27.4.1) 協和小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校	(昭和16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和22.4) 木臼小学校 ↓ (昭和26.4.1) 中央小学校 ↓		(昭和16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和27.4.1) 東丘小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校	(昭和21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和22、4) 千歳第二小学校 ↓ (昭和43.4.1) 泉郷小学校を統合 ↓	(昭和11.11.30) 烏柵舞尋常高等小千歳鉦山特別教授所 ↓ (昭和12.10.1) 千歳鉦山尋常高等小学校 ↓ (昭和16.4) 千歳鉦山国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳鉦山小学校 ↓ (昭和53.3.31) 廃校
平成		(平成5.3.31) 千歳小学校へ統合			現在に至る	

	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和 21.11.20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和 22.4) 蘭越小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 緑小学校へ統合	(昭和 22.12.25) 烏柵舞小学校支笏湖 湖畔分教場 ↓ (昭和 24.1.29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和 39.4.1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和 23.6) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 信濃小学校へ統合	(昭和 28.5.25) 開校 現在に至る	(昭和 31.4) 開校 現在に至る	(昭和 32.4) 開校 ↓ (昭和 53.3.31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和 34.4.1) 水明小中学校藤の沢 分枝 ↓ (昭和 39.3.31) 水明中藤の沢分枝 水明中学校へ統合 ↓ (昭和 39.4.1) 千歳小学校藤の沢 分枝 ↓ (昭和 41.4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和 42.3.31) 廃校	(昭和 35.5.5) 千歳小学校特殊学 級 ↓ (昭和 37.4.1) 千歳中学校特殊学 級併設 ↓ (昭和 40.10.1) 千歳小中北栄分枝 ↓ (昭和 46.4.1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和 41.12.1) 開校 現在に至る	(昭和 43.4.1) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 千歳第三小学校を 統合 現在に至る	(昭和 45.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 46.1.1) 幌加、協和、東丘の3校 を統合して開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和 51.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 53.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 57.4.1) 開校 現在に至る	(平成 6.4.1) 開校 ↓ (平成 17.4.1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成 9.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校長都分枝とし て小学校に併置 ↓ (昭和 30.5.23) 長都中学校として独立 ↓ (昭和 52.4.1) 長都小中学校 ↓ (平成 17.3.31) 富丘中学校へ統合
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉾山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和	(昭和 22.6.4) 開校 ↓ (昭和 41.4.1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷中学校を統合 現在に至る	(昭和 22.6.5) 幌加中学校として小 学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和 32.8.29) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校鉾山分 校として小学校に併 置 ↓ (昭和 25.4.1) 千歳鉾山中学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校	(昭和 25.12) 千歳中学校阿宇砂 里分枝として小学校 に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 駒里分枝 ↓ (昭和 31.1.1) 駒里中学校として小 学校に併置 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校嶮淵分枝とし て小学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 泉郷分枝 ↓ (昭和 31.1.1) 泉郷中学校 ↓ (昭和 43.3.31) 千歳中学校へ統合

	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭 和	(昭和22.5.13) 千歳中学校木臼分校として小学校に併置	(昭和24.4.8) 千歳中学校烏柵舞分校として小学校に併置	(昭和47.1.1) 開校 ↓ (昭和47.4.1) 中央中学校を統合 現在に至る	(昭和50.4.1) 開校 現在に至る ↓ (平成17.4.1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和59.4.1) 開校 現在に至る	(昭和62.4.1) 開校 現在に至る
	(昭和26.4.1) 同 中央分校 ↓ (昭和31.1.1) 中央中学校 ↓ (昭和47.3.31) 真町中学校へ統合	(昭和26.4.1) 同 水明分校 ↓ (昭和31.1.1) 水明中学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.4.1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和41.3.31) 千歳中学校へ統合				

5 教育委員会組織と事務分掌



[2] 教育財政

1 教育予算

(1) 教育費の推移（人件費を除く）

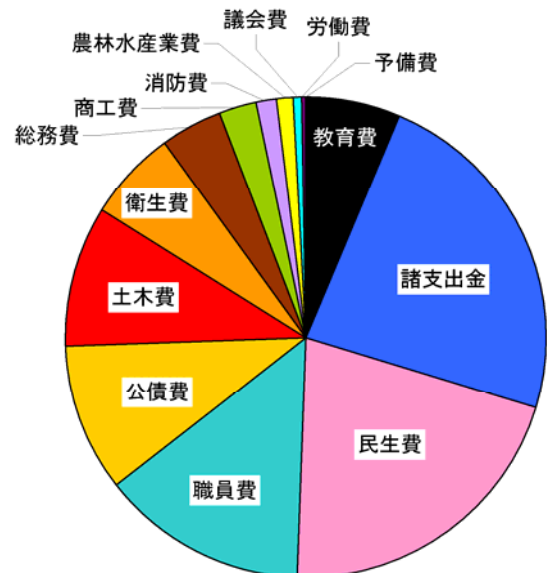
（単位：千円）

年度 区分	当 初 予 算 額				
	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
教育費	2,344,088	2,608,001	2,770,011	2,752,874	2,758,559
一般会計	46,755,915	45,405,244	46,870,585	43,180,159	43,286,640
構成比	5.0%	5.7%	5.9%	6.4%	6.4%

(2) 平成 22 年度当初予算構成

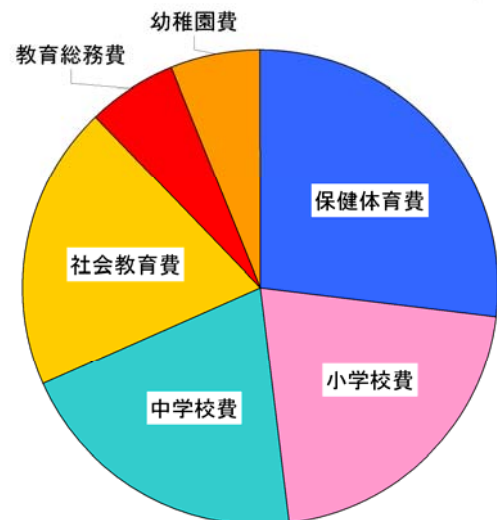
一般会計 （単位：千円）

区 分	金 額	比 率 %
議 会 費	204,255	0.5
総 務 費	1,809,844	4.2
民 生 費	9,040,553	20.9
衛 生 費	2,637,249	6.1
労 働 費	130,624	0.3
農 林 水 産 業 費	451,723	1.0
商 工 費	1,105,625	2.5
土 木 費	4,097,888	9.4
消 防 費	568,731	1.3
教 育 費	2,758,559	6.4
公 債 費	4,273,071	9.9
諸 支 出 金	10,149,668	23.4
職 員 費	6,038,850	14.0
予 備 費	20,000	0.1
総 額	43,286,640	100.0



教育費 （単位：千円）

区 分	金 額	比 率 %
教育総務費	174,552	6.3
小学校費	581,069	21.1
中学校費	565,234	20.5
幼稚園費	166,433	6.0
社会教育費	529,186	19.2
保健体育費	742,085	26.9
総 額	2,758,559	100.0



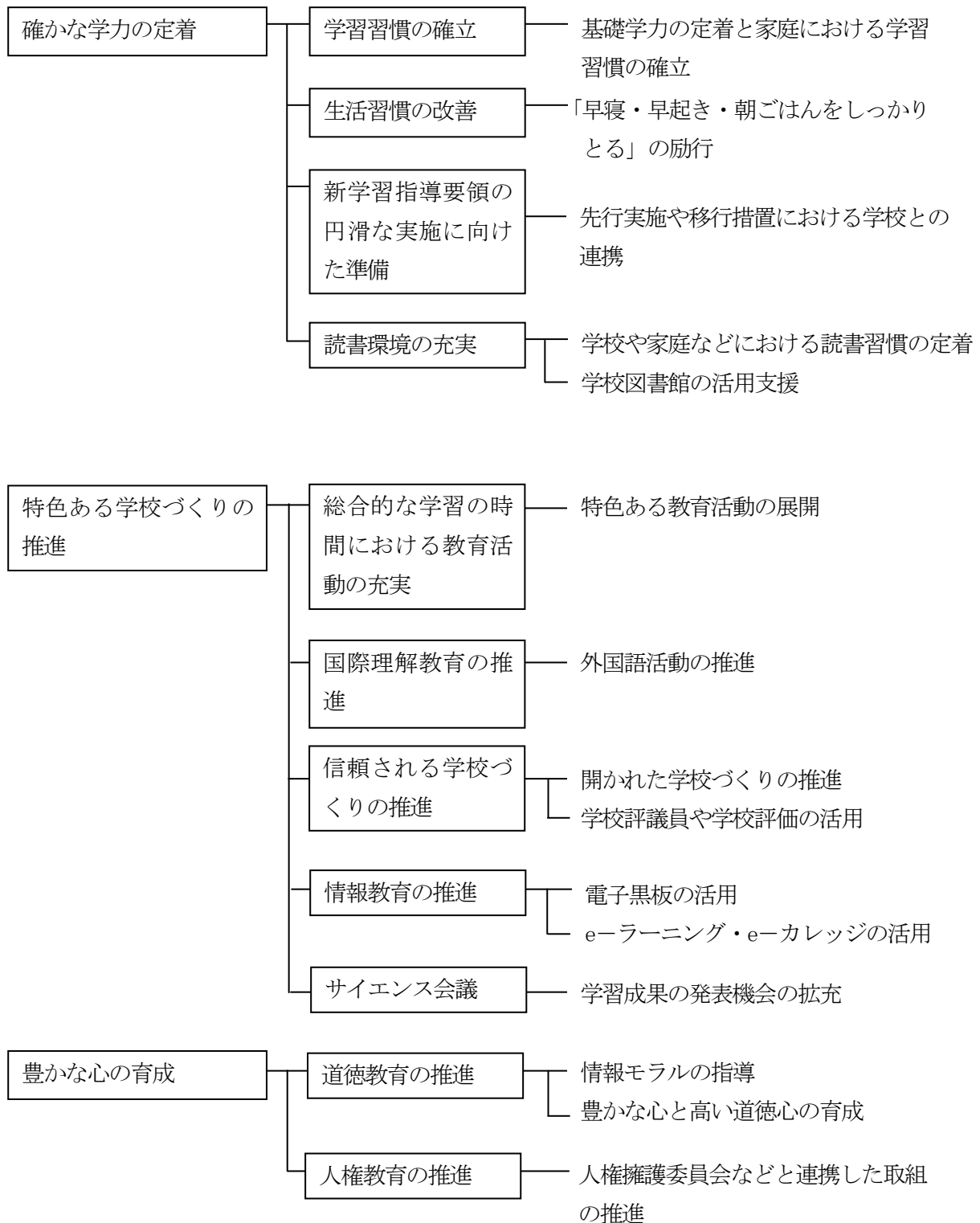
2 平成22年度主要事業予算

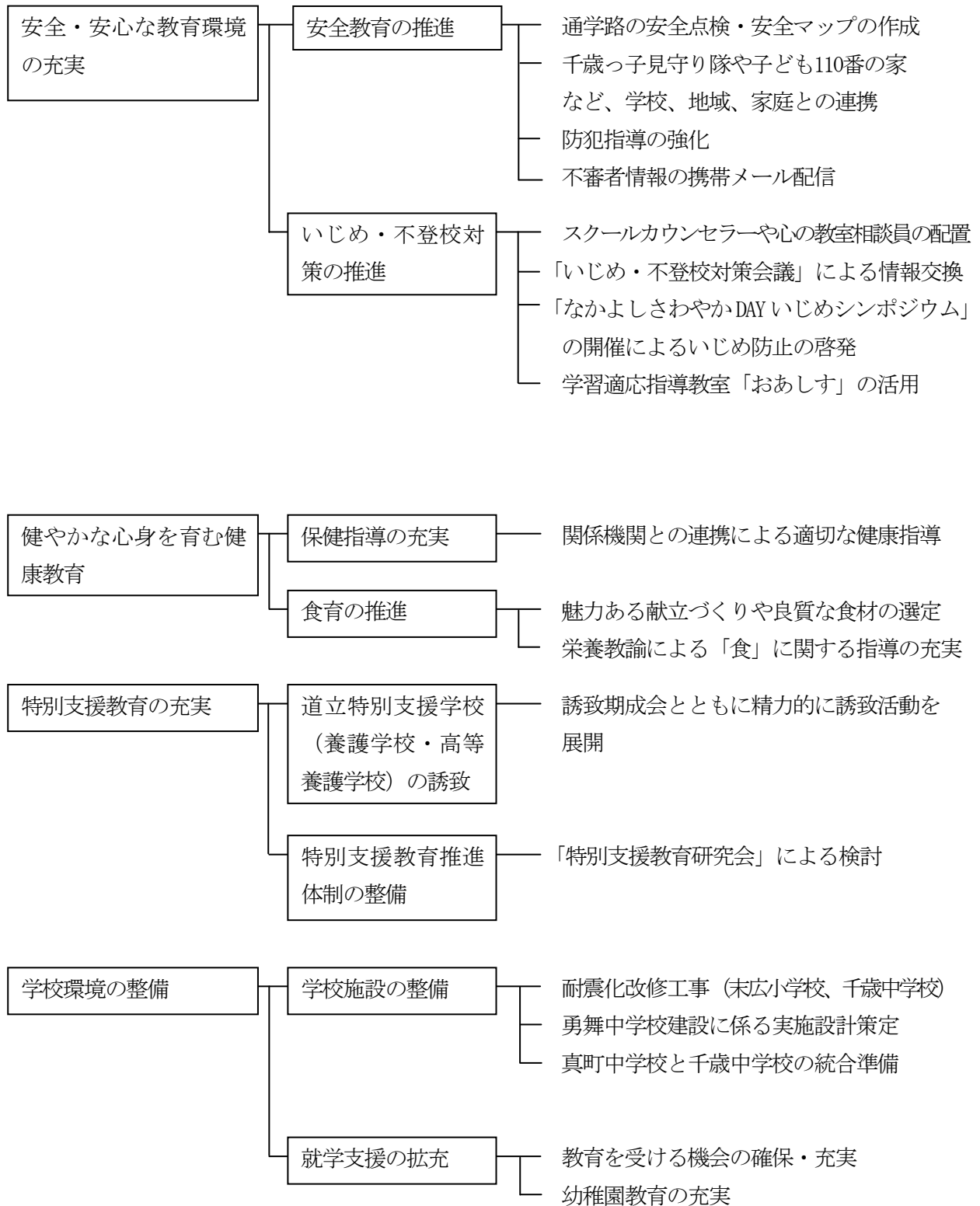
(単位：千円)

款	項	目	本年度予算 (当初)	説明
教育費			2,758,559	
	教育総務費		174,552	
		教育委員会費	43,102	教育委員会運営管理経費、庁舎管理経費、修学支援事業費等
		教育振興費	115,356	スクールバス運行経費、特別支援教育体制推進事業費、外国青年招致事業費等
		教育財産管理費	16,094	教員住宅維持管理費経費等
	小学校費		581,069	
		小学校管理費	415,612	小学校運営管理業務経費、小学校就学援助事業費等
		小学校営繕費	165,457	小学校維持補修業務経費、小学校耐震化改修事業費等
	中学校費		565,234	
		中学校管理費	268,754	中学校運営管理業務経費、中学校就学援助事業費等
		中学校営繕費	243,328	中学校維持補修業務経費、中学校営繕事業費等
		中学校建設事業費	58,152	勇舞中学校建設事業費、富丘中学校仮設校舎整備事業費等
	幼稚園費		166,433	
		幼稚園振興費	166,433	幼稚園教育振興事業費（就園奨励費補助金等）
	社会教育費		529,186	
		社会教育振興費	12,538	家庭教育講座開催事業費、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費、高齢者学級開催事業費等
		青少年対策費	178,120	青少年健全育成事業費、放課後子どもプラン推進事業費等
		公民館費	21,655	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費等
		文化振興費	38,086	文化活動支援事業費、埋蔵文化財センター移転整備事業費等
		図書館費	110,531	図書館施設管理経費、図書館冷暖房設備更新事業費等
		市民文化センター費	168,256	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費等
	保健体育費		742,085	
		保健体育総務費	25,334	児童・生徒健康診断事業費、就学援助事業費等
		給食センター費	289,896	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費等
		体育振興費	426,855	スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費等

V 学校教育

〔1〕学校教育の主な施策





〔2〕児童生徒数の推移

1 小学校

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
千歳小	321	328	294	297	295	290	279	280	297	301	306
北進小	15	24	24	30	29	27	37	40	38	41	36
北栄小	381	358	309	288	292	283	276	305	304	295	273
末広小	415	397	401	406	435	443	451	455	481	463	466
緑小	338	325	329	337	322	334	349	348	349	359	380
千歳第二小	371	426	478	493	480	494	473	444	419	392	380
駒里小	17	19	14	13	13	10	8	11	14	11	8
長都小	17	17	11	8	5	-	-	-	-	-	-
支笏湖小	14	10	11	8	9	11	11	12	12	11	12
日の出小	639	657	677	678	680	681	673	655	643	616	588
信濃小	439	430	440	459	447	457	446	433	428	445	452
高台小	374	370	362	348	330	325	324	306	303	315	304
東小	32	27	25	24	27	22	27	28	28	28	29
祝梅小	544	539	520	484	485	472	434	421	382	376	334
桜木小	546	536	531	538	532	547	532	527	497	471	443
向陽台小	326	308	292	268	272	264	250	233	220	213	191
北陽小	506	556	577	572	594	652	703	741	826	946	1,015
泉沢小	578	566	581	594	595	579	513	505	454	427	397
合計	5,873	5,893	5,876	5,845	5,842	5,891	5,786	5,744	5,695	5,710	5,614



2 中学校



	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
千歳中	512	504	470	459	439	444	452	446	454	462	485
北進中	34	29	32	17	16	21	24	24	20	22	31
青葉中	584	540	542	560	550	532	518	536	546	533	507
東千歳中	18	16	23	22	19	15	11	12	9	11	15
長都中	9	11	7	11	7	-	-	-	-	-	-
駒里中	7	5	10	11	12	8	9	11	10	9	8
真町中	131	122	121	112	93	80	83	91	91	93	81
富丘中	735	747	723	742	772	830	850	900	899	899	872
北斗中	406	375	351	326	340	346	378	382	393	376	375
向陽台中	511	478	461	445	443	441	433	412	413	379	395
合計	2,947	2,827	2,740	2,705	2,691	2,717	2,758	2,814	2,835	2,784	2,769

※児童生徒数は各年度5月1日現在の学校基本調査による

〔3〕学校の概要

1 小学校

 <h2 style="text-align: center;">千 歳 小 学 校</h2> <p style="text-align: center;"> 所在：千歳市本町3丁目4番地の1 電話：0123-23-2181 創設：明治12年10月15日 面積：校地15,089㎡、校舎5,309㎡ </p>			
校 長 名 釜 田 恵 児		教 頭 名	東 口 明 雄
教 職 員 数	教員16名 養護1名 事務1名 栄養1名	学 級 数 児 童 数	12 学級 306 名
教 育 目 標	<p style="text-align: center;"> 自然や人とふれ合い、心豊かに 明日に向かってみがきあう ～私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです～ ○すすんで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○意志の強い子 ○きたえる子 <重点目標> 自ら学び つながり合いを大切にし 豊かに生きる子どもの育成 </p>		
研 究 主 題	<p style="text-align: center;"> つながり合って、自己を広げる児童の育成 ～思考の見える言語活動を充実させ、学ぶ喜びを実感できる授業づくり～ </p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<p>ふれあい体験学習（生きる力の育成） 地域の教育環境（人・自然・地域・文化など）や特色ある活動を全教育活動に位置付け、体験（ふれあい）を重視した教育活動を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 国際理解教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・英語活動の推進 ・国際姉妹校「サンドレイク小学校」との交流 ◇ 創意ある「総合的な学習の時間（あおば学習）」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 人との共生の視点（国際理解他） <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人や友達等とのかかわりを軸とした活動 ○ 自然との共生の視点（環境教育他） <ul style="list-style-type: none"> ・青葉公園などでの自然体験を軸とした、調査・発表等の活動 ○ 地域との共生の視点（福祉教育他） <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動や地域の歴史や文化・施設など身近な課題・疑問に沿った調査・発表等の活動 		
沿 革	<p> 明治12年10月 寺子屋式教育を始める 明治13年4月 千歳教育所となる 明治28年3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年4月 千歳小学校となる 昭和53年10月 開校100年記念式典挙行 平成元年2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成6年6月 サンドレイク小学校児童他 29名来校 相互訪問開始 平成9年3月 本校児童他 54名、サンドレイク小学校訪問 平成10年5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校 平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成18年6月 サンドレイク小学校児童他46名来校 平成20年1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童 他 26名） 平成21年6月 サンドレイク小学校児童他42名来校 平成21年10月 耐震化大規模改修工事完了 </p>		

	<h2 style="margin: 0;">北 進 小 学 校</h2> <p style="margin: 0;">所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和35年5月5日 面積：校地11,341㎡、校舎2,607㎡</p>																						
校 長 名	平 田 弘 子	教 頭 名	村 山 浩																				
教 職 員 数	教員9名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	知的障がい 3学級 自閉症・情緒障がい 3学級 計6学級 36名																				
教 育 目 標	<p style="text-align: center;">～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしかに学ぶ子（知） ・かかわりをもてる子（情） ・たくましく生きる子（意・体） 																						
研 究 主 題	<p style="text-align: center;">一人一人を大切にし、確かな生活力を育む授業のあり方を目指して — 学んだ力が生活に生きる国語科の指導を通じて —</p>																						
特 色 あ る 教 育 活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1 小中一環教育の推進 2 自己決定や社会参加を見通した教育活動 (体験学習・ソーシャルスキルトレーニング-SST-) 3 個別の指導計画の作成とインフォームドコンセント及びアカウタビリティの推進 4 児童生徒ひとりひとりの個性を生かし、且つ大きな集団（障がい者だけの）の良さを生かした教育活動 5 健常者との交流学习 6 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導 																						
沿 革	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding-right: 10px;">昭和35年5月</td> <td>児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足</td> </tr> <tr> <td>昭和38年12月</td> <td>北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転</td> </tr> <tr> <td>昭和40年10月</td> <td>千歳小・千歳中の北栄分校となる</td> </tr> <tr> <td>昭和46年4月</td> <td>北進小中学校として独立</td> </tr> <tr> <td>昭和49年4月</td> <td>言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行</td> </tr> <tr> <td>昭和58年4月</td> <td>情緒障害学級開設</td> </tr> <tr> <td>平成3年3月</td> <td>開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行</td> </tr> <tr> <td>平成14年2月</td> <td>開校40周年記念祝賀会</td> </tr> <tr> <td>平成18年2月</td> <td>北海道教育実践表彰受賞</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">4月</td> <td>通級指導教室を開設</td> </tr> </table>			昭和35年5月	児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足	昭和38年12月	北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転	昭和40年10月	千歳小・千歳中の北栄分校となる	昭和46年4月	北進小中学校として独立	昭和49年4月	言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行	昭和58年4月	情緒障害学級開設	平成3年3月	開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行	平成14年2月	開校40周年記念祝賀会	平成18年2月	北海道教育実践表彰受賞	4月	通級指導教室を開設
昭和35年5月	児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足																						
昭和38年12月	北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転																						
昭和40年10月	千歳小・千歳中の北栄分校となる																						
昭和46年4月	北進小中学校として独立																						
昭和49年4月	言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行																						
昭和58年4月	情緒障害学級開設																						
平成3年3月	開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行																						
平成14年2月	開校40周年記念祝賀会																						
平成18年2月	北海道教育実践表彰受賞																						
4月	通級指導教室を開設																						





北 栄 小 学 校

所在：千歳市北栄1丁目10番2号
 電話：0123-23-4138
 創設：昭和28年5月25日
 面積：校地30,302㎡、校舎6,033㎡



校 長 名	四 方 正	教 頭 名	前 田 敦 志
教 職 員 数	教員20名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	12学級 273名 (うち特殊学級4学級28名)
教 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に工夫して学習する子ども (進んで学習する子ども) ○情操に富み創造的な子ども (豊かな心をもった子ども) ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども (なかまを大事にする子ども) ○体力の向上に努め、健康で明るい子ども (健康で明るい子ども) ○勤労を愛する子ども (みんなといっしょに働く子ども) <p>【重点目標】 思いやりの心を持ち、明るくたくましく生活する子どもを育成する。</p>		
研 究 主 題	意欲を持って学習に取り組む子どもの育成 ～わかる・できる喜びを実感できる授業づくりを通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級(知的障がい、情緒障がい)「たんぼぼ学級」を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち、共に生きるための相互理解の場としている。 ○魅力ある環境構成を工夫し、身近な自然に自ら関わっていける子どもの育成に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・教材園、花壇、ビニルハウス等での栽培活動の展開 ・学校林と、それに隣接する復元草地・池の活用 ○縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間、各種集会活動等、障がい児学級(たんぼぼ学級)交流 ○管内唯一のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクールへの参加 		
沿 革	<p>昭和28年5月 千歳小学校より分離し9学級で開校</p> <p>昭和48年5月 情緒障害児学級新設</p> <p>昭和55年6月 スクールバンド結成</p> <p>平成15年11月 開校50周年記念式典挙行</p> <p>平成17年2月 石狩教育局長表彰受賞(スクールバンド)</p> <p>平成18年3月 「北栄小子どもを見守り隊」発足</p> <p>平成19年10月 緑化事業「げん気の森」完成式典</p> <p>平成21年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場</p>		

	<h2 style="margin: 0;">末 広 小 学 校</h2> <p style="margin: 0;">所在：千歳市富丘2丁目6番2号 電話：0123-23-4127 創設：昭和31年4月1日 面積：校地 22,005 m²、校舎 5,931 m²</p>		
校 長 名	藤 崎 利 博	教 頭 名	赤 沼 宏 樹
教 職 員 数	教員19名 養護1名 事務1名 栄養1名	学 級 数 児 童 数	14 学級 466 名
教 育 目 標	<p style="margin: 0;">○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子 ○六年間を自ら学ぶ子 *重点教育目標「かかわる力を高め、確かな学び、豊かな学びができる子の育成」</p>		
研 究 主 題	<p style="margin: 0;">主体的に考え、自ら学ぶことができる子どもの育成 ～「基礎学力」の定着と「表現力」の向上を目指した指導のあり方～</p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<p style="margin: 0;">① アイヌ文化学習（総合的な学習、生活科） 全学年のカリキュラムとして編成し、本物に触れる体験重視の学習活動を軸にふるさとを愛し、自然や命を大切にすることを育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材の導入や保護者・地域の人々の学習支援を目指し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の創造に努めている。</p> <p style="margin: 0;">② 福祉教育への取り組み（お年寄りとの交流） 地域の老人福祉施設や老人クラブの人たちと交流し、人と人との温かいふれあいを深めるとともに、地域社会の一員としての自覚と連帯感を育てている。</p> <p style="margin: 0;">③ 授業の工夫改善 個に応じた指導の工夫を進め算数等でのTT指導による基礎基本の定着、地域人材活用・ゲストティーチャーによる多様な授業の充実と創造を図る。</p>		
沿 革	<p style="margin: 0;">昭和31年4月 新設開校 8月 開校記念式典挙行 昭和49年3月 現在地に校舎移転 平成8年11月 開校40周年をお祝いする会挙行 平成10年3月 北海道教育実践表彰受賞 平成15年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年5月 北海道教育実践表彰受賞 平成21年3月 多目的トイレ完成 9月 「ねんりんピック」参加</p>		



緑 小 学 校

所在：千歳市緑町4丁目4番1号
 電話：0123-23-4107
 創設：昭和32年4月1日
 面積：校地 19,328 m²、校舎 6,498 m²



校 長 名	伊 藤 祐 二	教 頭 名	谷 口 寿 光
教 職 員 数	教員20名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	12 学級 380 名
教 育 目 標	<p style="text-align: center;">～ 私たちは 未来へと進む 緑小の子ども ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよく元気に遊びます…… からだ (体) ・すすんで学び考えます…… あたま (知) ・めあてをもって努力します…… 生きる力 (意) ・人や地球にやさしくします…… こころ (情) 		
研 究 主 題	<p style="text-align: center;">「すすんで聞こう、話そうとする児童の育成」 ～コミュニケーションを豊かにする外国語活動のあり方～</p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緑っ子バザール (全校、地域参加によるふれ合い集会) ○ ボランティア活動 (地域別異学年グループによる清掃・美化活動) ○ 全校児童による学校花壇作り (学年輪番による世話活動、お花ボランティアの活動) ○ スケート学習 ○ 地域の施設・人材を活用した授業 ○ 特別支援員教育・理科支援員教育 ○ 英語活動 ○ 科学技術大学教授・学生との交流授業 ○ カヌー体験 (河川の安全教育) ○ アイヌ文化学習 ○ ユネスコスクール登録 (申請中) 		
沿 革	<p>昭和32年4月 新設開校 昭和49年4月 言語治療教室開設 昭和52年9月 開校20周年記念式典挙行 昭和53年4月 蘭越小学校と統合 昭和59年1月 校舎増改築工事完了・引っ越し 昭和62年11月 開校30周年記念式典挙行 平成7年4月 言語通級指導学級開始 平成17年10月 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 平成17年10月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成19年4月 普12学級(349名)言語通級指導(46名) 平成19年12月 開校50周年記念式典挙行 平成20年3月 北海道PTA広報誌コンクール審査員特別賞 (北海道新聞社賞) 平成20年4月 お話し会「ぴっころ」開始 平成20年12月 千歳市学校課題研究発表会開催 平成21年5月 あそびの日in千歳会場</p>		



千 歳 第 二 小 学 校

所在：千歳市清流1丁目4番1号
 電話：0123-23-1971
 創設：大正9年12月13日
 面積：校地25,693㎡、校舎4,950㎡



校 長 名	小 石 和 博	教 頭 名	山 崎 信 哉
教 職 員 数	教員18名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	13 学級 380 名
教 育 目 標	○明るく 思いやりのある子 ○ねばり強く たくましい子 ○よく考え 進んで学習する子		
研 究 主 題	『主体的に学習に取り組む子どもの育成』 ～算数科における表現力の向上をめざした指導方法の工夫～		
特 色 あ る 教 育 活 動	① TT・少人数指導の実施 ・学習意欲の向上、個人差の解消を目指すと共に、基礎基本の確実な定着を図る。 (算数科・体育科) ② 特別支援教育の充実 ・校内の特別支援体制の確立と強化による、子どもや保護者に対する教育相談の充実化を図る。また、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員・心の教室相談員の派遣設置による体制の充実。 ③ パワーアップ学習の取り組み(朝の10分間学習) ・読書活動への意欲向上や教科学習のつまずきの克服など、習慣化を図ることで、短時間で集中して取り組むことができる。 ④ 地域の人材や団体との交流 ・地域の老人クラブ(清流親和会)との交流(昔の遊び・花壇づくりなど) ・地域の人材を講師として・・・ サケのふるさと館(学芸員)の協力により、サケの誕生と成長(受精卵→孵化→稚魚)の体験学習と千歳川への稚魚放流活動。 ・アイヌ文化の学習・・・伝統楽器(ムックリ)づくりやサケの解体体験など。 ・幼稚園(児)との交流・・・近隣の幼稚園との相互交流を深める。 ⑤ 二小の誕生日(開校90周年集会) ・同窓生に講師として来て頂き、当時の学校生活・子どもや地域の様子などについて語ってもらう等開校90周年を祝う集会を行う。		
沿 革	大正9年12月 千歳尋常小学校根志越分教場として開校 昭和21年4月 千歳第二国民学校として独立 昭和22年4月 千歳第二小学校となる 昭和43年4月 泉郷小学校統合 昭和45年12月 開校50周年記念式典挙行 平成4年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成11年1月 サケの稚魚の飼育開始 平成11年3月 増築校舎完成(第1期) 平成12年11月 開校80周年記念公開授業研究会 平成15年4月 少人数指導開始 平成18年4月 二学期制実施 平成19年5月 スクールカウンセラー配置事業開始 平成19年12月 児童用PC40台、指導用PC1台設置 平成20年4月 特別支援教育支援員配置開始		



駒 里 小 学 校

所在：駒里945番地の6
 電話：0123-23-3237
 創設：明治39年9月1日
 面積：校地42,833㎡、校舎1,207㎡



校 長 名	野 原 大 紀	教 頭 名	吉 田 篤 弘
教 職 員 数	教員4名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	3学級 8名
教 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ◎ やさしい子 (広い心をもち 人や自然を愛する子ども) (情) ◎ 進んで学ぶ子 (自ら進んで学びとる子ども) (意) ◎ 元気な子 (健康な心と身体をもった元気な子ども) (体) 		
研 究 主 題	基礎・基本の確実な定着と自己学習力を育てる学習指導の在り方 ～言語活動の充実と個への支援を目指して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 <ul style="list-style-type: none"> 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる <ul style="list-style-type: none"> (1) 農園活動学習、農業体験学習 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた自由課題学習 2 ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> (1) 交通安全キャンペーン、 (2) 通学路清掃 (3) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (4) 障害者芸術協力等 3 体力づくり <ul style="list-style-type: none"> (1) パークゴルフ (2) 一輪車 (3) 歩くスキー 		
沿 革	<p>明治33年6月 千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治39年9月 阿宇砂里簡易教育所となる 大正6年4月 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和22年4月 阿宇砂里小学校となる 昭和27年4月 駒里小学校となる 平成8年9月 開校90周年記念集会举行 平成10年10月 全道へき地複式・併置校教育研究大会石狩大会会場 平成15年4月 交通安全キャンペーン表彰 平成16年9月 交通安全キャンペーン20年達成 平成17年8月 大規模改修 平成18年11月 小学校開校100周年 中学校開校50周年記念式典、祝賀会開催 平成19年5月 石狩館内複式校新任者研究大会 平成20年7月 文科省指定 豊かな体験活動 平成21年9月 交通安全キャンペーン25年達成</p>		



支 笏 湖 小 学 校

所在：千歳市支笏湖温泉 2 番地
 電話：0123-25-2729
 創設：昭和 23 年 12 月 1 日
 面積：校地 14,940 m²、校舎 1,643 m²



校 長 名	河 野 修 一	教 頭 名	生 田 康 人
教 職 員 数	教員 4 名 養護 1 名 事務 1 名	学 級 数 児 童 数	3 学級 12 名
教 育 目 標	<p>「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、創造する子ども (知) ・明るく、協力する子ども (情) ・根気よく、実行する子ども (意) ・心身をきたえる子ども (体) <p>重点目標 (学校課題) 『生き生きと 進んで実行する 子どもの育成』</p>		
研 究 主 題	<p>自分の考えを持ち、生き生きと表現できる児童の育成 ～算数科における学習指導の研究～</p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1 愛鳥モデル指定校～地域の特性を生かし、毎朝の給餌・観察活動、学習・行事との関連を図る。 2 ヒメマス学習～地域の特産であるヒメマスを取り上げることで地域の自然環境や産業人々のくらしを学習し、理科、社会科、生活科、総合学習、行事との関連を図る。 3 全校鼓笛隊～鼓笛隊を全校児童で組織し、地域行事に参加することで支笏湖地区に貢献している自分達に気付かせ、地域住民や観光客へ披露することで自信と意欲を育てる。 4 公園清掃～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々と行い、環境美化に努めている。 5 高知県南国市立奈路小学校との交流（「心の直行便」活動）～ 一年おきに相互学校訪問し、手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、また、離れた地域の友だち、父母との「心の交流」を行っている。 		
沿 革	<p>昭和22年12月 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 支笏湖小学校の認可 昭和23年12月 現在のユースホステルに校舎完成 昭和24年 1 月 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7 月 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典挙行 昭和49年 7 月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典挙行 昭和54年12月 開校30周年記念式典挙行 昭和57年 2 月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9 月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2 月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年2・8月 南国市立奈路小学校との交流 開校50周年記念式・祝賀会挙行 平成18年 5 月 北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功勞）受賞 平成19年 5 月 野生生物保護功勞者表彰</p>		



日 の 出 小 学 校

所在：千歳市日の出2丁目3番20号
 電話：0123-23-2670
 創設：昭和41年12月1日
 面積：校地 21,997 m²、校舎 4,899 m²



校 長 名	入 沢 潤 司	教 頭 名	比 良 彰 男
教 職 員 数	教員24名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	18 学級 588 名
教 育 目 標	◎進んで学習する子 (知) ◎思いやりのある子 (情) ◎考えて行動する子 (意) ◎元気に活動する子 (体) ◆元気なあいさつ、学び喜び、未来へはばたく日の出小		
研 究 主 題	自分の思いを伝え合う子どもの育成 ～国語科と外国語活動を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 学習活動の面 ① 授業のねらいを明確化し、基礎基本の定着を図る指導過程を構築する取り組み ・ 研究教科を国語科と外国語活動とし、確かな学力を育成するとともに、自分の思いを伝え合うコミュニケーション能力を身に付ける指導 ② 表現力を育成し、豊かな心を育む取り組み ・ 集会活動や総合的な学習の時間での発表内容の工夫 ・ 読書活動の充実～読書チャレンジカードの取り組み (2) 校行事及び児童会の活動に関わる取り組み ① 日の出っ子ひろば ② あいさつ運動 ③ リングプル集め ④ 愛キャップ集め (3) その他 地域と関わりのある活動 ① P T Aふれあいフェスティバル ② ふれあいボランティアの活用 (AKS活動) ③ 読み聞かせの会「やまぶどうの会」との連携 (土曜日の図書室開放) ④ 防犯ボランティア「日の出っ子見守り隊」との連携		
沿 革	昭和41年12月 新設開校 昭和42年1月 開校記念式挙行 昭和51年3月 祝梅小学校分離 昭和51年6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業		





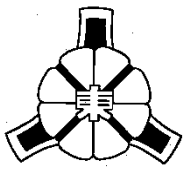
信 濃 小 学 校

所在：千歳市信濃 2 丁目 34 番 12 号
電話：0123-23-4752
創設：昭和43年 4 月 1 日
面積：校地23,236㎡、校舎5,644㎡



校 長 名	亀 浦 正 幸	教 頭 名	加 藤 理 恵
教 職 員 数	教員20名 養護 1 名 事務 1 名	学 級 数 児 童 数	15 学級 452 名
教 育 目 標	○考える子 ○やさしい子 ○がんばる子 ○じょうぶな子		
研 究 主 題	「思いや考えを共感的に受けとめ、伝え合う信濃っ子の育成 ～外国語活動の授業を通じて～」		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) ふれあい活動を通して思いやりの心や実践力の育成 ・地域の老人クラブ、幼稚園、視覚障害・知的障害者施設の方々との交流 (2) 異学年交流を通して心の交流を図るとともに、自分達で遠足を企画させること により、自覚と責任感を養う ・ジャンボタイム～子ども達の手でつくりあげる異学年のふれあい活動		
沿 革	昭和43年 4 月 新設開校 昭和47年12月 体育館（講堂）完成 昭和48年 7 月 開校5周年記念式典 昭和53年 3 月 桜木小分離 10月 開校10周年記念式典举行 昭和63年 1 月 「信濃の森」購入 10月 開校20周年記念式典举行 平成 2 年11月 学校プール完成 平成 6 年 4 月 北陽小分離 平成10年 8 月 開校30周年記念式典举行 平成20年11月 開校40周年記念事業学校課題研究発表会		

	<h2 style="margin: 0;">高 台 小 学 校</h2>		
<p style="margin: 0;">所在：千歳市富丘1丁目19番4号 電話：0123-23-9109 創設：昭和45年4月1日 面積：校地 21,844 m²、校舎 5,068 m²</p>			
校 長 名	山 内 雅 彦		教 頭 名 河 村 英 俊
教 職 員 数	教員15名 養護1名 事務1名		学 級 数 児 童 数 11 学級 304 名
教 育 目 標	深く考え 学び合う子（重点 意欲的に聞き、考え調べる子） 広い心で 助け合う子（重点 思いやりの心で 友達と仲よくする子） 心豊かに 生きぬく子（重点 きまわりを守り ねばり強く活動する子）		
研 究 主 題	共に学び、共に高め合う授業づくりのあり方		
特 色 ある 教 育 活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1 『生活ノート』を活用した基本的な生活習慣作り 2 国際理解教育 総合的な学習の中で、4年生 10 時間程度文化を学びながら英語学習 3 鮭のふ化の観察 さけボランティアによる飼育とさけのふるさと館との交流 4 ふれあい花壇 3、4年生による花壇づくり（「花いっぱいコンクール」参加） 5 千歳市河川事務所との連携 4年総合的な学習の時間 		
沿 革	<p style="margin: 0;">昭和45年4月 新設開校 昭和54年5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設 昭和55年11月 開校10周年記念式典祝賀会举行 平成2年11月 開校20周年記念式典举行 平成12年9月 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 開校30周年記念式典举行 平成15年3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰 平成16年11月 千歳市学校課題研究発表会 平成18年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 8月 「人権の花」感謝状受賞 平成20年1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通し交流 平成21年5月 人権の花贈呈式</p>		



東 小 学 校

所在：千歳市東丘 824 番地の 30
 電話：0123-21-3200
 創設：昭和 46 年 1 月 1 日
 面積：校地 22,150 m²、校舎 2,183 m²



校 長 名	若 山 真	教 頭 名	安 部 紀 江
教 職 員 数	教員 6 名 養護 1 名 事務 1 名	学 級 数 児 童 数	4 学級 29 名
教 育 目 標	「おもいやる心で たくましく 学びつづける東っ子」 重点目標 『豊かな知恵と、たくましい実践力をもった子どもの育成』 ～授業力の向上に励み、子どもの変容を図る～		
研 究 主 題	自ら考え、共に学び、意欲的に学習に取り組む子どもの育成 ～思いや考えを伝え合う授業の創造～		
特 色 あ る 教 育 活 動	<ol style="list-style-type: none"> 農業体験活動 <ul style="list-style-type: none"> 地域の農業考える活動を通し、自分達の生活が多くの人々に支えられていることに気づかせる。また、地域の農業と食との関わりについても学ぶ。 学校田（米）活動を通し、作物を育てる苦労や喜びを体験させるとともに、主食について考えさせる。 ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> 保育所や老人クラブと交流し、地域への貢献を通して地域の一員としての誇りをもつ。 北進小学校との交流活動を通して、他校の児童との交流を深める。 学校行事・集会活動 <ul style="list-style-type: none"> 小中合同運動会（保育所、地域）、学芸会、雪中運動会等の地域一体に行事を通して、ふるさとを大切にすることを育てる。 栽培活動集会（講師依頼）、もちつき集会（講師依頼、学校間交流）百人一首集会（講師依頼）を通して地域の人々との交流を深め、ふるさとを大切にすることを育てる。 体力づくり（全校なわとび）と歯磨き指導 <ul style="list-style-type: none"> 業間を活用し、なわとびの取り組みを行い、体力づくりを図る。 給食終了後に、全校一斉に歯磨き指導を実施している。 パレットタイム <ul style="list-style-type: none"> パレットタイム（朝学習の名称）を確保し、国語・算数を中心とした「くり返し学習」「朝読書」を実施をしている。 縦割り班(異学年)活動を日常的に行い、思いやりの心やたくましい心を育む。 (花壇・給食・稲作・東小音頭) 		
沿 革	昭和46年 1 月 幌加小、協和小、東丘小の 3 校統合開校 昭和55年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 2 年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年10月 全道へき復大会第5分科会会場校 平成12年12月 開校30周年記念式典挙行 平成13年 9 月 コンピューター室整備 平成13年10月 学校林記念植樹 平成14年10月 石教研へき復部会研究集会		



祝 梅 小 学 校

所在：千歳市梅ヶ丘3丁目2番1号
 電話：0123-21-1110
 創設：昭和51年4月1日
 面積：校地21,444㎡、校舎5,294㎡



校 長 名	谷 川 季 文	教 頭 名	高 田 哲 也
教 職 員 数	教員17名 養護1名 事務1名 栄養1名	学 級 数 児 童 数	12 学級 334 名
教 育 目 標	総括目標 たくましいからだと豊かな心を持った人間の育成 基本目標 ○強いからだ、心をきたえる子 ○正しいことを進んでする子 ○みんなと仲よくできる明るい子 ○みずから考え、創造する子 重点教育目標 ・学校経営の基本に元還りしての教育の実践		
研 究 主 題	意欲的に学習し、豊かに表現する子どもの育成 ～国語科「話すこと聞くこと」領域の研究を軸とした実践を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 サケの飼育学習及び放流 ・環境教育の一環として「サケの飼育」を教育課程に位置づけて取り組む。放流も行う。 2 コイの飼育 ・「思いやり」の心を育てる活動のひとつとして実施（対小動物） 3 花壇の世話 ・「思いやり」の心を育てる活動のひとつとして実施（対植物） 4 「祝梅タイム」「朝読書」の実施 ・朝の15分間（水曜日は朝読書）に実施し、意欲的な学習態度の育成や基礎基本的な学習内容の定着を図る。 5 牛乳パックのリサイクル、リングプル回収、愛キャップ運動への協力 ・ユニセフ活動への協力として実施		
沿 革	昭和51年4月 新設開校 昭和52年2月 6年生タイムカプセル収埋（2000年に回収） 昭和60年11月 開校10周年記念式典挙行 平成6年1月 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成7年11月 開校20周年記念式典挙行 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成21年1月 岡山市立西大寺南小とサケ飼育を通し交流（児童2名教諭1名）		



桜木小学校

所在：千歳市桜木7丁目1番1号
 電話：0123-22-3301
 創設：昭和53年4月1日
 面積：校地26,817㎡、校舎5,548㎡



校 長 名	田 中 博 之	教 頭 名	鈴 木 俊 之
教 職 員 数	教員21名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	14学級 443名
教 育 目 標	自ら学ぼうとする意欲と ともに高まろうとする意志をもち 感性豊かな中にも 自律心と協調心を持ち 何事にも挫けない強い心を持ち 健やかな体でたくましく生きる 人間の育成を図る 【目指す子ども像】 知：すすんで学ぶ子 情：思いやりのある子 意：がんばりぬく子 体：健康で明るい子		
研 究 主 題	「自分の考えや思いを論理的に生き生きと表現できる児童の育成 ～個の学びとグループ学習を通して～」		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 「桜木博物館」「桜木小公園」 ・ 具体物や自然との関わりの中で五感を通して学ぶ学習の展開 (2) 「国際理解教育」「英語学習」 ・ 他国の文化を学ぶと共に自国の文化を考える。 (3) 地域やお年寄りとのふれあい活動 ・ コスモス花壇づくり・昔の遊び交流・読み書かせの会・学芸会への招待 ・ ホタレンジャー (4) 桜木メッセージ・スーパークリーン大作戦（地域の方々との交流・清掃活動）		
沿 革	昭和53年4月 新設開校 昭和62年10月 開校10周年記念式典挙行 平成元年11月 桜木博物館、桜木学習公園完成 平成8年2月 サイパン島ガラパン小学校と姉妹校盟約締結 平成10年11月 開校20周年記念式典挙行 平成16年2月 石狩教育実践奨励表彰受賞 5月 すこやか農園造成 平成19年10月 石教研学校課題研究発表会 12月 開校30周年記念式典挙行 平成20年8月 レニアムタイムカプセル開封式 平成21年3月 環境省「こどもホタレンジャー」優秀賞受賞		



向陽台小学校

所在：千歳市若草5丁目1番地
 電話：0123-8-2111
 創設：昭和57年4月1日
 面積：校地29,161㎡、校舎6,759㎡



校 長 名	花 春 美	教 頭 名	森 正 彦
教 職 員 数	教員16名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	11 学級 191 名 (うち特殊学級4学級8名)
教 育 目 標	明るく豊かな心とたくましい体を持ち、 進んで自らを創造し実践する子どもの育成をめざす ○すすんで考える子 ○すなおで思いやりのある子 ○ねばり強くやりぬく子 ○明るく たくましい子 重点教育目標 【仲間を思いやる心の育成】 ～相手の気持ちになって考え、互いに違いを認め合って、 共に生きる広くて優しい心の持てる人間を育む～		
研 究 主 題	「自ら進んで学び、わかる喜びを感じる子どもの育成」 ～「読みの力」を育む国語科の指導を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	朝に自主学習～ 反復練習を要する学習活動や継続して取り組むと効果が見られる活動等に毎日10分ずつ教科外に時間を設定し取り組む。(水曜日は朝読書) 異学年集団活動～ 縦割り交流活動(向陽っ子タイム)での友達づくり、外遊び、室内遊び、ふれあいランチ。向陽っ子集会。全校一斉の奉仕活動(クリーン大作戦)。 花と小鳥と緑の学校～ 「植物栽培活動」ひまわり栽培、教材園での植物栽培。「野鳥の世話、観察」冬期間給餌活動、野鳥観察。「花の集会」「小鳥の集会」自然とのふれ合い活動へ意欲づけを図る。 地域交流活動～ 地域幼児、お年寄りとの交流(運動会、夏まつり、収穫祭、ふれあいランチ、学芸発表会)地域コミュニティー文化祭への出演。		
沿 革	昭和57年4月 新設開校 平成4年10月 開校10周年記念式典挙行 平成5年～ 毎年、市や北海道の花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞・優良賞・奨励賞等を受賞 平成6年4月 北海道愛鳥モデル校指定 平成9年3月 泉沢小学校分離 平成10年4月 あおぞら(情緒、知的障害)学級開設 平成11年3月 全道PTA広報紙コンクール優秀賞受賞 平成13年11月 開校20周年を祝う集い 平成14年6月 学校図書館地域開放 平成15年4月 難聴学級開設 平成16年4月 肢体不自由学級開設 平成18年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年5月 北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労者受賞 平成20年2月 文部科学省指定 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」公開研究会開催 平成20年12月 北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成21年8月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成21年12月 北海道花いっぱいコンクール優秀賞受賞		



北 陽 小 学 校

所在：千歳市北陽3丁目9番1号
 電話：0123-42-3441
 創設：平成6年4月1日
 面積：校地 28,874 m²、校舎 6,165 m²



校 長 名	菊 地 秀 夫	教 頭 名	武 田 淳
教 職 員 数	教員39名 養護2名 事務2名	学 級 数 児 童 数	31 学級 1,015 名 (うち特殊学級1学級4名)
教 育 目 標	<p>◎自分や友達の良さを生かし、心をより豊かにしようとする子どもの育成 (情) 思いやりをもち、助け合う子 (やさしい子) (意) 目標に向かって、努力する子 (がんばる子) (知) 自ら学び、深く考える子 (考える子) (体) 進んで、体をきたえる子 (元気な子)</p> <p>【重点目標】 ○自ら考え、進んで物事に取り組む子どもを育てる</p>		
研 究 主 題	<p>「自分の思いや考えを活かし、共に学び合う子どもの育成」 ～話し合い活動を通し考えを深め、共に創り上げる授業を目指して (算数科) ～</p>		
特 色 あ る 教 育 活 動	<p>◎ 総合的な学習の時間による今日的な教育課題へアプローチ 身近なところから始める環境・福祉・キャリア教育 地域の自然・社会・人的環境を活用した学習活動の展開</p> <p>◎ 読書活動の推進による豊かな心と確かな学力の育成 日常的な読書活動の奨励とボランティアとの提携による読書活動の展開 音読を意識した授業の工夫と児童委員会における発展的な活動 (読み聞かせ)</p>		
沿 革	<p>平成6年4月 新設開校 平成9年3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12年・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年3月 増築校舎完成 平成20年3月 トイレ増築工事完了 平成21年3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年1月 新校舎1・2階教室改築工事完了</p>		





泉 沢 小 学 校

所在：千歳市柏陽2丁目9番地
 電話：0123-28-5830
 創設：平成9年4月1日
 面積：校地 32,022 m²、校舎面積 5,627 m²



校 長 名	相 馬 彰 仁	教 頭 名	小 野 善 弘
教 職 員 数	教員18名 養護1名 事務1名	学 級 数 児 童 数	13 学級 397 名
教 育 目 標	「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子（情） ○ねばり強く、がんばりぬく子（意） ○進んで学び、深く考える子（知） ○明るく元気で、たくましい子（体）		
研 究 主 題	自分の考えを持ち、表現しともに高め合える子の育成 ～交流活動の工夫を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	～ いじめ防止・不登校対策指導のできる学校づくりと総合的な学習の時間のあり方の見直し・地域を生かした教育～ 1 いじめ・不登校対策を全職員・保護者・地域が一体となって取り組む方策 ○ いじめ不登校対策のためのブロックや学年部会、全教育活動の一貫としての取り組み ○ 子どものサインを見逃さず「いじめ」の認識を正確に捉え、早期発見・早期の適切な対応によりいじめ・不登校を根絶させる取り組み 2 総合的な学習時間の見直し、地域を生かした教育活動 ○ 臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 ○ 向陽台の諸施設（リハビリ学院・航空学園など）を生かしたキャリア教育 ○ 泉沢小の「かがやきの森」・学校林を生かした自然体験活動や環境教育 ○ 老人ホーム・赤い羽根・車椅子などボランティア活動の推進		
沿 革	平成9年4月 新設開校 平成10年9月 泉ザ・ワールド開催 平成11年6月 卒業記念植樹 平成12年9月 授業自由参観実施（3日間） 12月 ケムケム集会 平成13年4月 T T及び少人数指導導入 6月 学校評議員制度実施 8月 コンピューター42台設置 平成14年11月 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年9月 英会話学習開始 平成16年10月 台風により学校林20本倒木 平成17年4月 P T A 規約大幅改訂 10月 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年5月 開校10周年記念大運動会実施 10月 開校10周年記念・石教研指定学校課題研究発表会開催 11月 開校10周年記念式典挙行 平成19年11月 全校道徳実施 平成20年2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 5月 第2回全校道徳実施 平成21年2月 「遊々の森」認定書締結式 5～11月 「かがやきの森」整備開始		

2 中 学 校

 <h3 style="text-align: center;">千 歳 中 学 校</h3> <p style="text-align: center;"> 所在：千歳市栄町4丁目35番地 電話：0123-23-3161 創設：昭和22年6月4日 面積：校地25,903㎡、校舎5,665㎡ </p>			
校 長 名		本 多 総 夫	
教 職 員 数		教員29名 養護1名 事務2名	
教 育 目 標		学 級 数 生 徒 数 17学級 485名 (うち特別支援学級4学級25名)	
研 究 主 題		『自ら学び、自らを高め続けられる「生涯学習力」の形成』 知識・技能を効果的に習得・活用できる力を身につけることで、主体的・能動的に学び、自己の成長に結びつけられる「生涯学習力」を養う。	
特 色 あ る 教 育 活 動		1 職業教育の充実 1年～職場見学(1日) 2年～職場体験(3日) 2 PTA「おやじの会」の活動 環境整備、地域との交流、研修活動 3 千歳科学技術大学との連携による学習活動(SPP) ～1年生を対象にした理科の実験授業 4 地域との交流、ボランティア活動 生徒会委員による各種募金活動 ボランティア部や有志による施設訪問、吹奏楽部の地域での演奏活動	
沿 革		昭和22年6月 新設開校 9月 校章を制定 昭和24年6月 校歌制定 昭和26年3月 新校舎完成(現在地) 昭和29年3月 体育館完成 昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成 12月 完全防音、温風暖房機付講堂(兼体育館)完成 昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」 平成元年4月 はまなす学級開設 平成5年1月 コンピューター教室工事完了 平成9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」 平成10年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成12年2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞 8月 機械警備センサー設置 平成14年2月 安全対策整備工事完了(玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等) 平成16年3月 はまなす学級改修工事完了 平成18年8月 2階東校舎教室改修工事完了 平成19年10月 「柏葉の像」修復・塗装完了(奈良昌美先生・同窓会協賛事業) 平成20年3月 開校60周年記念講演会 平成21年9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換(天然ガス化) 平成22年2月 電子黒板配置	



北 進 中 学 校

所在：千歳市北栄1丁目2番6号
電話：0123-23-3439
創設：昭和37年4月1日
面積：校地 11,341 m²、校舎 2,607 m²



校 長 名	平 田 弘 子	教 頭 名	村 山 浩
教 職 員 数	教員11名	学 級 数 学 徒 数	知的障がい 3学級 自閉症・情緒障がい 2学級 計 5学級 31名
教 育 目 標	21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成 ・たしかに学ぶ子（知） ・かかわりをもてる子（情） ・たくましく生きる子（意・体）		
研 究 主 題	一人一人を大切にし、確かな生活力を育む授業のあり方を目指して — 学んだ力が生活に生きる国語科の指導を通じて —		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 小中一貫教育の推進 2 自己決定や社会参加を見通した教育活動 （体験学習・ソーシャルスキルトレーニング —SST—） 3 個別の指導計画の作成とインフォームドコンセント及びアカウントビリティの推進 4 児童生徒一人ひとりの個性を生かし、且つ大きな集団（障がい者だけの）のよさを生かした教育活動 5 健常者との交流学习 6 他校の児童生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年4月 北進小中学校として独立 昭和49年4月 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年4月 情緒障害学級開設 平成3年3月 開校30周年・校舎増築・新体育館完成記念式典挙行 平成14年2月 開校40周年記念祝賀会 平成18年2月 北海道教育実践表彰受賞		



青 葉 中 学 校

所在：千歳市豊里4丁目1番1号
 電話：0123-23-4147
 創設：昭和32年8月29日
 面積：校地26,028㎡、校舎6,517㎡



校 長 名	千 葉 英 一	教 頭 名	古 川 広 光
教 職 員 数	教員25名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	14学級 507名
教 育 目 標	21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成 すぐれた知性（知） 豊かな情操（徳） 強じんな意志と体力（体） 主体的な行動力（生きる力） 重点教育目標 「確かな学力と豊かな心の育成」 指導の重点「学び方・行い方・生き方」の確かな力の育成		
研 究 主 題	言語活動の充実と道德教育の推進		
特 色 あ る 教 育 活 動	<p>■自治活動■ 挨拶運動・各種募金活動やGBクラブ・JJキャンペーン・青葉の一等星たちなどユニークな活動を展開し、自治活動の高揚に向けた取り組みを積極的に実施。 また、生徒会による「いじめ撲滅宣言」の採択など、アンケートや学級・学年の取組を実施している。</p> <p>■部活動■ 年間を通じて練習試合や各種大会に積極的に参加し、技術の向上はもとより人間性の向上に努める。</p> <p>■朝読書■ 全校朝読書を完全実施して6年目となり定着期を迎えている。一日の学校生活が読書の静寂からスタートしている。</p> <p>■ファームステイ■ 修学旅行では、訪問地域の人々との交流を目的に海体験を中心とした民泊泊を行っている。</p>		
沿 革	昭和32年8月 千歳中学校より分離 新設開校 昭和47年1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年1月 現在地に校舎移転 昭和50年3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成元年9月 はまなす国体軟式野球会場 平成2年12月 プレハブ校舎完成 平成5年1月 コンピューター室完成 平成6年8月 全国中体連剣道大会競技部 平成7年4月 道研情報教育協力校（2年） 平成11年8月 全道中体連卓球大会運営 平成13年12月 グランド防球ネット延長工事 平成15年11月 管内教育機器活用研究発表 平成16年5月 生徒指導総合推進事業実践校 平成18年2月 コンピューター更新 掲揚塔新設 AED設置 平成19年6月 耐震工事、大規模改修工事 平成19年10月 開校50周年式典、祝賀会		



東千歳中学校

所在：千歳市東丘 731 番地の 117
 電話：0123-21-3300
 創設：昭和 27 年 4 月 1 日
 面積：23,108 m²、校舎 1,985 m²



校長名	佐藤久俊	教頭名	数井雅之
教職員数	教員 9 名 養護 1 名 事務 1 名	学級数 生徒数	3 学級 15 名
教育目標	◎確かな学力（知） ◎豊かな心（情） ◎責任ある行動（徳） ◎たくましい心身（体）		
研究主題	自ら考え、共に学び、学習意欲を高める生徒の育成 — 学び合い・互いに高め合う学習を通して —		
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏タイム（総合的な学習） ・ 壁新聞制作活動 ・ 地域保育所への訪問活動 ・ 学校農園作り ・ 花壇整備活動 ・ 小中合同運動会 ・ パークゴルフ大会 ・ 地域の人たちとの校外清掃 ・ 地域の人を講師に迎え、全校道徳 ・ 地域の人を講師に迎え、陶芸教室 ・ ボランティア活動（国際協力） 		
沿革	昭和22年 6 月 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校 昭和27年 4 月 東千歳中学校として独立 昭和31年12月 屋内体育館完成 昭和38年12月 東雲寮完成 昭和45年12月 スクールバス運行開始・東雲寮閉鎖 昭和49年 3 月 校舎改築完成 昭和51年 3 月 防音講堂（屋体）完成 昭和57年11月 開校30周年記念式典挙行 平成 4 年 7 月 開校40周年記念事業、パークゴルフ場完成 平成 5 年 4 月 学校教育目標改定 7 月 学校給食センター東千歳調理場閉鎖 平成 6 年 9 月 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成 平成 7 年 2 月 コンピューター教室設置 平成19年 1 月 第 5 回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 平成20年 1 月 第 6 回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 平成21年 1 月 第 7 回全道壁新聞コンクール「特別賞」受賞		



駒 里 中 学 校

所在：千歳市駒里 945 番地の 6
 電話：0123-23-3237
 創設：昭和 31 年 1 月 1 日
 面積：校地 23,108 m²、校舎 1,985 m²



校 長 名	野 原 大 紀	教 頭 名	吉 田 篤 弘
教 職 員 数	教員 6 名	学 級 数 生 徒 数	2 学級 8 名
教 育 目 標	◎ やさしい子（広い心をもち 人と自然を愛する子ども）（情） ◎ 進んで学ぶ子（自ら進んで学びとる子ども）（意） ◎ 元気な子（健康な心と身体をもった元気な子ども）（体）		
研 究 主 題	基礎・基本の確実な定着と自己学習力を育てる学習指導の在り方 ～言語活動の充実と個への支援を目指して～		
特 色 有 る 教 育 活 動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動学習、農業体験学習 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた自由課題学習 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン (2) 通学路清掃 (3) 学校祭・餅つき会への地域ご老人の招待活動 (4) 障害者芸術協力等 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 部活動（バドミントン）		
沿 革	昭和24年12月 千歳中学校阿宇佐里分校設置 昭和29年 9 月 開校50周年記念式典 昭和31年 1 月 駒里中学校として独立・小学校併置 昭和32年 7 月 校旗・校歌を制定 昭和36年12月 屋内体育館落成 昭和51年 8 月 グラウンド整地工事完了 昭和55年 2 月 新校舎開設 昭和61年 6 月 小学校開校 8 0 周年・中学校開校 3 0 周年記念式典 平成 5 年10月 コンピューター室設置 平成 8 年 9 月 小学校開校 9 0 周年・中学校開校 4 0 周年記念式典 平成10年10月 全道へき地複式教育研究大会開催 平成17年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成18年 8 月 講堂外壁・屋根全面改修工事 11月 開校100周年50周年記念式典 平成20年 8 月 全道中体連バドミントン大会女子個人出場 平成21年 8 月 全道中体連バドミントン大会男子		



真 町 中 学 校

所在：千歳市真々地2丁目3番1号
 電話：0123-23-0131
 創設：昭和47年1月1日
 面積：校地 24,729 m²、校舎 3,970 m²



校 長 名	中 川 剛	教 頭 名	伊 東 優 子
教 職 員 数	教員9名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	3学級 81名
教 育 目 標	一人一人に 良さがある 認め合い（共生） 鍛え合い（錬磨） 深め合い（探究） 心豊かで知性あふれる人間をめざそう		
研 究 主 題	「言語力の育成」 ～言語活動を重視した学習指導～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 地域に開かれた学校、地域とともに歩む学校 フリー授業参観、地域や保護者とともに活動する環境整備活動、文化的活動、 地域清掃活動、緑化運動等を通して、地域の中の学校づくりをめざす。 (2) 体験学習の充実 「環境教育」「職業と進路」「文化・共生」等の体験学習活動を福祉協議会、石 狩振興局森林室普及課、森林組合、商工会議所等の外部専門機関と連携を取る。		
沿 革	昭和46年11月 初代校長発令 昭和47年1月 新設開校 昭和50年2月 講堂落成式举行 昭和54年3月 校旗完成 昭和56年11月 開校10周年記念式典 昭和62年4月 向陽台中学校分離 平成3年10月 開校20周年記念式典举行 平成6年10月 コンピューター室工事完了 平成9年9月 千歳市花いっぱいコンクール「学校の部」最優秀賞受賞 平成12年10月 コンピューター機器更新完了 平成13年10月 開校30周年記念セレモニー・記念植樹・記念壁画披露 10月 コンピューター室光ファイバー敷設工事完了 12月 校舎外壁工事・塗装工事完了 平成14年8月 校舎・講堂防音建具復旧工事完了 12月 第2期校舎外壁工事・塗装工事完了 平成15年1月 教室・廊下塗装工事・天井補修工事完了 平成16年7月 第17回花いっぱいコンクール花壇中学校の部 最優秀賞 平成18年11月 コンピューター室パソコン機種更新 平成19年1月 教室黒板取り替え 1年教室改修工事 9月 文部科学省指定事業「キャリア・スタート・ウィーク」 2年生職業体験学習（5日間）		



富 丘 中 学 校

所在：千歳市あずさ1丁目2番1号
 電話：0123-24-1188
 創設：昭和50年4月1日
 面積：校地 24,729 m²、校舎 6,190 m²



校 長 名	佐々木 芳幸	教 頭 名	橋 詰 典 明
教 職 員 数	教員41名 養護2名 事務2名	学 級 数 生 徒 数	24 学級 872 名
教 育 目 標	一、賢く 創造力豊かな生徒を育てる 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒を育てる 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる 一、逞しく 心身をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる 重点目標 『涵養（かんよう）と醸成（じょうせい）』 ～学校からの発信 子どもからの受信～		
研 究 主 題	「基礎基本を生かし、意欲的に学習する生徒の育成」 ～教科部会における、指導方法の工夫・改善を通して～		
特 色 あ る 教 育 活 動	(1) 各学年毎の「総合的な学習の時間」 1年～郷土・環境、2年～職場体験学習、3年～福祉・国際理解 (2) ボランティア活動「富中プチボラ」 地域社会に貢献する活動、また、地域社会の福祉関係と一体となった活動を通して、豊かな人間性を育てる。		
沿 革	昭和50年4月 新設開校 昭和57年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和59年10月 開校10周年記念式典举行 昭和60年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成元年3月 リコーダー部門重奏部門「文部大臣奨励賞」受賞 平成7年1月 全国書初め展団体優勝 11月 開校20周年記念式典举行 平成8年3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成16年3月 リコーダー部 文部科学大臣奨励賞受賞 平成17年12月 開校30周年記念式典举行 平成18年8月 札幌地区吹奏楽コンクール金賞受賞 8月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年8月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 10月 仮設校舎設置 平成20年3月 全日本リコーダーコンテスト銀賞受賞 平成20年8月 剣道部全国大会出場 平成21年3月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成22年3月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞		



北 斗 中 学 校

所在：千歳市北斗5丁目1番1号
 電話：0123-22-4151
 創設：昭和59年4月1日
 面積：校地 24,729 m²、校舎 6,190 m²



校 長 名	牛 角 貴 一	教 頭 名	川 村 佳 広
教 職 員 数	教員22名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	12 学級 375 名
教 育 目 標	校訓 「融和・自律」「誠心・自尊」 1 思いやりの心を持ち、正しく判断できる生徒の育成 2 創造性豊かに、自ら進んで学ぶ生徒の育成 3 生命を大切に、たくましく生きる生徒の育成 4 広い視野に立ち、世界に目を向ける生徒の育成		
研 究 主 題	意欲的に自ら学び深めていく生徒の育成		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 ・前庭花壇等の取り組みを通じた情操教育 ・体験的活動を重視した校外研修 2 生徒の自主的態度を育成する活動 ・生徒会を中心とした自主的なボランティア活動 ・日常の生徒会活動の活発化を図る各種コンクール活動 3 地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 ・北斗ふれあいサークルの取り組み（茶道を中心とした各種サークル活動） ・職場体験学習や福祉体験学習の実施		
沿 革	昭和59年4月 新設開校 7月 プール完成 昭和60年10月 全道放送研究大会・研究発表開催 昭和61年2月 校舎増築完成 平成元年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成2年3月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成5年11月 コンピューター室設置 平成6年11月 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会第3位 平成8年6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月 開校20周年記念式典挙行 平成19年1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞 平成21年3月 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞		



向陽台中学校

所在：千歳市若草5丁目5番地
 電話：0123-28-4286
 創設：昭和62年4月1日
 面積：校地 29,082 m²、校舎 5,549 m²




校 長 名	近 藤 馨	教 頭 名	武 岡 則 夫
教 職 員 数	教員22名 養護1名 事務1名	学 級 数 生 徒 数	12 学級 395 名
教 育 目 標	1 知性を磨き 創る人 《知》 2 広く絆を 結ぶ人 《情》 3 理想を求め 励む人 《意》 4 気高く強く 生きる人 《体》 5 すすんで道を 拓く人 《労》		
研 究 主 題	確かな学力を身につけるための学習指導のあり方 ～学力の向上をめざし、自ら学ぶ力を伸ばす指導～ コミュニケーション能力の育成		
特 色 あ る 教 育 活 動	1 勤労生産活動およびボランティア活動 ①地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 ②資源回収活動 ③ボランティア体験活動（グループホーム訪問等）ボランティア集会、募金活動 2 花いっぱい運動 ①学校花壇の整備と管理…校舎周辺、校門前道路周辺（生徒会） ②学級花壇整備と管理 3 保護者・地域の協力による文化活動 ①文化的行事（向中フェスティバル）～各種制作物の掲示、合唱発表 ②地域交流（泉沢向陽台地区文化祭への制作作品の展示や合唱での出演） 4 朝読書活動 毎朝、始業前に全校生徒が一斉に朝読書を行う。 5 「河口」発表会 歌い継がれている「河口」を全校生徒が地域と一体となって合唱発表会を開催する。 （千歳フィルハーモニー管弦楽団も参加）		
沿 革	昭和62年 開校式 7学級273名 平成2年 増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成5年 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成6年 コンピューター教室設置、ラグビー部全道優勝 平成9年 野球部全国大会出場、石教研・千歳振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成11年 「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成18年 開校20周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成19年 第1回「河口」発表会 平成20年 第2回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成21年 校舎大規模改修工事（外壁、屋上、非常階段、職員室、教室、玄関、体育館床） 第3回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加		

3 幼稚園

(平成22年5月1日現在)

学校法人・幼稚園名	所在地	電話	認可 定員	就園 者数	預かり 保育	給食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	〒066-0041 千歳市清水町4丁目25番地	23-2331	120	88	○	○
千歳栄光学園 千歳第2幼稚園	〒066-0037 千歳市新富1丁目6番21号	23-3586	140	128	○	○
千歳学園 メリー幼稚園	〒066-0027 千歳市末広5丁目1番6号	23-3329	280	226	○	○ (週2)
千歳学園 第2メリー幼稚園	〒066-0034 千歳市富丘4丁目13番20号	23-5735	310	283	○	○ (週2)
西越学園 くるみ幼稚園	〒066-0082 千歳市幸福1丁目847番地	23-4559	230	222	○	○ (週5)
千歳青葉学園 千歳青葉幼稚園	〒066-0015 千歳市青葉5丁目13番7号	23-3998	150	91	○	○ (週3)
富士学園 千歳わかば幼稚園	〒066-0039 千歳市富士2丁目5番6号	23-9253	170	93	○	○ (週3)
富士学園 第2若葉幼稚園	〒066-0078 千歳市勇舞1丁目4番1号	23-2200	280	190	○	○ (週3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	〒066-0035 千歳市高台2丁目3番11号	23-0203	300	321	○	○ (週3)
つくし学園 向陽台つくし幼稚園	〒066-0057 千歳市若草5丁目3番地の1	28-2123	210	157	○	○ (週3)
合計 10 幼稚園			2,190	1,799		

4 高等学校

学 校 名 所 在 地 電 話	 <p style="text-align: center;">北海道千歳高等学校</p> <p style="text-align: center;">千歳市北栄1丁目4番1号 (電話 0123-23-9145)</p>
校 長 名	<p style="text-align: center;">遠 藤 龍 一</p>
学 級 数 生 徒 数	<p>(全日制) 普通科 国際教養科 国際流通科</p> <p style="text-align: right;">計 27学級1,074名</p> <p>(定時制) 普通科</p> <p style="text-align: right;">4学級 88名</p>
沿 革	<p>昭和23年10月30日 道立野幌高等学校千歳分校として設立認可</p> <p>昭和25年3月31日 北海道月寒高等学校千歳分校となる</p> <p>昭和25年4月30日 千歳町立北海道千歳高等学校設置許可</p> <p>昭和29年4月1日 道立移管</p> <p>昭和33年10月4日 創立10周年記念式典挙行</p> <p>昭和43年9月22日 創立20周年記念式典挙行</p> <p>昭和53年9月24日 創立30周年記念式典挙行</p> <p>昭和62年3月31日 定時制商業科閉科</p> <p>平成6年11月8日 大韓民国空港高校姉妹提携</p> <p>平成7年7月・12月 大韓民国空港高校と相互交流開始 (平成10年及び11年一時中断)</p> <p>平成11年4月1日 国際教養科・国際流通科開設</p> <p>平成11年11月6日 創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行</p> <p>平成12年9月 アメリカ合衆国ジェームズリバー高校と相互交流開始</p> <p>平成14年3月31日 第2体育館完成</p> <p>平成15年4月1日 全日制普通科1間口減</p> <p>平成20年6月～ 平成21年2月 創立60周年記念事業 (記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成)</p>

学 校 名 所 在 地 電 話	 <p style="text-align: center;"> 北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 (電話 0123-24-2818) </p>
校 長 名	<p style="text-align: center;">宮 前 邦 夫</p>
学 級 数 生 徒 数	<p style="text-align: center;"> 全日制普通科 22学級 812名 </p>
沿 革	<p> 昭和48年4月1日 開校 昭和51年7月15日 文部省教育課程研究開発校指定 昭和57年11月13日 創立10周年記念式典挙行 平成4年10月18日 創立20周年記念式典挙行 平成7年2月13日 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞 平成14年11月9日 創立30周年記念式典挙行 平成15年4月1日 2学期制導入 平成16年4月1日 学校目標改訂 平成18年4月1日 校訓制定 平成19年4月2日 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定 平成20年12月25日 千歳科学技術大学との連携・協力に関する協定 平成21年9月14日 平成23年度よりフィールド制導入決定 </p>

5 大学・各種学校

学校名	所在・電話	学科・定員等
 <p>千歳科学技術大学</p>	<p>〒066-8655 千歳市美々758 - 65 (電話0123-27-6001)</p>	<p>総合光科学部 240名 バイオ・マテリアル学科 光システム学科 グローバルシステムデザイン学科</p> <p>(大学院) 光科学研究科 光科学専攻 博士前期課程20名 博士後期課程 3名</p>
 <p>日本航空専門学校</p>	<p><千歳キャンパス> 〒066-8622 千歳市泉沢1007番地の95 (電話0123-28-1155)</p> <p><白老キャンパス> 〒059-0904 白老町東町2丁目1番5号</p> <p><能登空港キャンパス> 〒929-2372 石川県輪島市 三井町洲衛9部27番地7</p>	<p>(4年制課程) 航空工学科 40名</p> <p>(3年制課程) 航空整備科 198名 (一等航空運航整備士コース) (二等航空整備士コース) (二等航空運航整備士コース) (システムコース) (整備技術コース) (生産技術コース)</p> <p>(2年制課程) 空港技術科 グランドハンドリングコース 80名 航空観光ビジネスコース 40名 操縦科 10名</p>
 <p>北海道千歳リハビリ テーション学院</p>	<p>〒066-0055 千歳市里美2丁目10番 (電話0123-28-5331)</p>	<p>(昼間部・3年課程) 理学療法学科 80名 作業療法学科 40名</p>

〔4〕就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(1) 学用品費等援助

(単位:人、千円)

区分	年度	平成 19 年度実績		平成 20 年度実績		平成 21 年度実績		備 考
		人員	金 額	人員	金 額	人員	金 額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	967	13,491,747	949	13,355,757	973	13,370,760	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	286	3,346,730	307	3,501,980	302	3,487,720	
	新入学児童生徒学用品費等	117	2,328,300	136	2,706,400	134	2,666,600	
	修学旅行費	164	2,736,045	183	3,243,155	183	3,236,292	要保護を含む
	校外活動費	179	436,140	150	357,030	135	386,537	宿泊学習
	学校給食費	967	40,344,410	945	40,070,115	953	42,304,120	
	計		62,683,372		63,234,437		65,452,029	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	486	11,949,498	508	12,707,644	569	13,987,905	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	72	2,613,600	75	2,722,500	82	2,976,600	
	新入学児童生徒学用品費等	178	4,076,200	160	3,664,000	179	4,099,100	
	修学旅行費	139	8,489,106	152	9,313,003	194	12,383,431	要保護を含む
	校外活動費	146	617,988	188	788,010	165	704,939	宿泊学習
	学校給食費	486	23,882,320	506	25,309,050	563	29,306,490	
	計		51,628,712		54,504,207		63,458,465	
合 計		114,312,084		117,738,644		128,910,494		

(2) 医療費援助

(単位:人、千円)

区分	年度	平成 19 年度実績		平成 20 年度実績		平成 21 年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	要保護児童	8	266,300	14	552,150	23	590,068	
	準要保護児童	53	436,720	53	504,374	61	534,587	
	計	61	703,020	67	1,056,524	84	1,124,655	
中学校	要保護生徒	4	102,100	4	266,700	8	299,370	
	準要保護生徒	24	241,591	27	345,986	24	294,368	
	計	28	343,691	31	612,686	32	593,738	
合計		89	1,046,711	96	1,669,210	116	1,718,393	

2 特別支援教育助成

(1) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(単位:人、千円)

区分	年度	平成 19 年度実績		平成 20 年度実績		平成 21 年度実績		備 考
		人員	金 額	人員	金 額	人員	金 額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	57	401,621	55	391,754	59	391,754	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	24	226,435	16	174,340	11	174,340	
	新入学児童生徒学用品費等	10	99,500	5	49,750	12	49,750	
	修学旅行費	7	51,263	8	64,105	18	64,105	
	校外活動費	13	16,444	29	24,652	9	24,652	宿泊学習
	学校給食費	57	1,212,278	55	1,183,858	59	1,183,858	
	通学費	86	675,047	84	626,803	78	429,410	
	計		2,682,588		2,515,262		2,317,869	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	33	400,637	25	308,545	25	306,718	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	10	181,500	7	127,050	9	163,350	
	新入学児童生徒学用品費等	10	114,500	7	80,150	9	103,050	
	修学旅行費	12	295,338	8	217,292	9	239,958	
	校外活動費	2	3,138	4	6,245	2	5,262	宿泊学習
	学校給食費	33	824,043	25	637,876	25	675,213	
	職場実習・交流学习交通費	9	3,580	6	2,937	3	2,280	
	通学費	16	390,460	12	193,140	10	90,861	
	計		2,213,196		1,573,235		1,586,692	
合 計		4,895,784		4,088,497		3,904,561		

(2) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

(単位:人、千円)

区分		平成 19 年度実績		平成 20 年度実績		平成 21 年度実績		備 考
		人員	金 額	人員	金 額	人員	金 額	
小学校	特別支援学級	146	5,021,000	143	4,911,000	148	5,070,000	
	特別支援学校等	12	614,000	13	701,000	12	605,000	
	計	158	5,635,000	156	5,612,000	160	5,675,000	
中学校	特別支援学級	39	1,714,000	32	1,536,000	41	1,948,000	
	特別支援学校等	5	336,000	9	594,000	11	396,000	
	計	44	2,050,000	41	2,130,000	52	2,344,000	
合 計		202	7,685,000	197	7,742,000	212	8,019,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、就学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

(1) 資格要件

- ① 千歳市内に住所を有すること
- ② 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- ③ 学資に乏しいこと
- ④ 学業優良及び素行善良であること

(2) 奨学金額

区分	対象	金額
高校生等	高等専門学校生（1年生から3年生）	月額7,000円以内
	高校生	
	専修学校生（修業年限が3年以上の高等課程）	
大学生等	大学生（短期大学含む）	月額10,000円以内
	高等専門学校生（4年生、5年生及び専攻科）	
	専修学校生（修業年限が2年以上の専門課程）	

(3) 奨学基金現在高

57,196,447円（平成22年3月31日現在）

(4) 支給実績

（単位：人、円）

年度 区分	20年度			21年度		
	応募者	受給者	支給金額	応募者	受給者	支給金額
高校生	60	25 (※24)	1,460,000	64	30	2,520,000
大学生	25	15	1,260,000	42	20 (※19)	2,330,000
合計	85	40	2,720,000	106	50	4,850,000

※H20年度は1名、8月交付分より休止（市外転居のため）

※H21年度は1名、9月交付分より休止（休学のため）

4 私立幼稚園助成

(1) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児1人当たり年額5,500円を補助しています。

(21年度実績)

対象園児数	補助金交付額
1,803人	9,916,500円

(2) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助している。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）、10年間を限度としています。

(21年度実績)

区分	対象幼稚園	補助金交付金額
建設	1園	5,143円
防音	—	—
計	1園	5,143円

(3) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助しています。（ただし、1園当たり15万円を限度とする。）

(21年度実績)

対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
4園	10人	500,000円

(4) 私立幼稚園連合会研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員1人当たり5,500円を限度として補助しています。

(21年度実績)

参加教員数	補助金交付額
93人	215,243円

(5) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する児童の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

(21年度実績)

就園奨励費	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児	1,607人	138,202,800円
2歳児受入	94人	6,503,440円

〔5〕学 校 保 健

児童生徒の健康保持、体力増進を図るため、指導の強化、設備の充実に意を配するとともに学校医及び学校歯科医・学校薬剤師等による定期健康診断、心臓病検診、尿検査さらに施設診断など、健康管理には十分留意しています。

1 児童生徒の体位（平成 21 年度）

			身長 cm		体重 kg		座高 cm	
			男	女	男	女	男	女
小学生	6 歳	千 歳 市	116.3	115.7	21.2	20.8	64.6	64.1
		全 道	117.1	116.1	22.0	21.1	65.1	64.6
		全 国	116.7	115.8	21.5	21.0	64.9	64.5
	7 歳	千 歳 市	122.0	122.1	24.1	24.3	67.3	67.3
		全 道	122.2	121.7	24.1	23.9	67.5	67.3
		全 国	122.6	121.7	24.1	23.5	67.7	67.3
	8 歳	千 歳 市	127.9	127.4	27.0	26.9	69.9	69.7
		全 道	128.4	128.3	27.8	27.6	70.2	70.3
		全 国	128.3	127.5	27.2	26.5	70.3	70.0
	9 歳	千 歳 市	134.0	133.7	31.5	30.2	72.6	72.5
		全 道	134.1	134.1	31.7	31.1	72.8	72.8
		全 国	133.6	133.5	30.6	30.0	72.7	72.7
10 歳	千 歳 市	139.4	140.3	35.1	35.1	74.6	75.6	
	全 道	139.0	140.7	35.7	35.2	75.0	76.0	
	全 国	138.9	140.3	34.2	34.1	75.0	75.9	
11 歳	千 歳 市	146.6	146.8	40.2	39.8	78.2	78.8	
	全 道	146.3	147.9	41.5	40.8	78.2	79.8	
	全 国	145.1	146.9	38.4	39.0	77.6	79.3	
中学生	12 歳	千 歳 市	152.8	152.4	44.9	44.8	81.1	82.2
		全 道	153.7	152.6	46.1	44.8	81.9	82.5
		全 国	152.5	151.9	44.2	43.8	81.3	82.1
	13 歳	千 歳 市	161.4	155.3	51.1	47.5	85.4	83.6
		全 道	160.8	155.6	50.5	48.3	85.5	84.0
		全 国	159.7	154.9	49.1	47.3	84.9	83.7
	14 歳	千 歳 市	166.1	156.9	55.0	50.6	88.3	84.8
		全 道	166.5	157.1	56.8	50.9	88.8	85.0
		全 国	165.2	156.7	54.3	50.2	88.1	84.8

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

給付実績

(単位：件数)

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
19年度	小学校	97	76	97	89	359
	中学校	137	213	155	80	585
	計	234	289	252	169	944
20年度	小学校	109	92	79	84	364
	中学校	117	205	139	91	552
	計	226	297	218	175	916
21年度	小学校	74	77	58	72	281
	中学校	121	138	122	90	471
	計	195	215	180	162	752

〔6〕学校給食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター

所在地 千歳市流通3丁目1番地の11
電話 0123-3-3591 FAX 23-3599
開設 平成5年8月
建築構造 鉄骨造2階建
敷地面積 8,995.46 m²
建物面積 2,660.25 m²



2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パンまたは麺類2回）の給食を提供しています。現代の食生活における問題点は、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題が生じていることです。

このことから、学校給食は、家庭における食事と相まって、成長期にある児童生徒が1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食栄養基準」に基づき、献立を作成しています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所属団体	氏名
向陽台小学校長	花 春美
緑小学校	伊藤 祐二
真町中学校長	中川 剛
日の出小学校教頭	比良 彰男
保護者	高松 栄子
保護者	松隈 早織
千歳医師会・学校医	石坂 明人
民生委員児童委員連絡協議会	元木 みゆき
千歳消費者協会	中村 千代子
千歳市保健福祉部健康指導課長	渡辺 得二

(平成22年7月5日現在)

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。また、食材については、平成13年1月から白米に千歳産の「ほしのゆめ」を、平成22年4月から角食及び丸パンの原材料である小麦に、千歳産の「春よ恋」を使用するなど、「地産地消」に努めています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

4 学校給食の重点事項

学校や家庭との連携を図るため、「学校給食担当者会議」を開催し、献立に関する意見や給食事務を迅速に処理する方法などについて協議を行い、学校給食の充実にも努めています。また、正しい食習慣を養い、楽しく安全な給食を提供するため、計画的に学校を訪問し、食に関する指導を行っています。

5 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	教職員	週3回
26	17	9	8,899	5,614	2,769	516	

(平成22年5月1日現在)

6 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費(円)		年間給 食回数
					月額	年間	
小学校(低)	68.85	132.72	39.43	241.00	3,720	44,640	185回
小学校(高)	73.15	146.42	39.43	259.00	4,000	48,000	
中学校	79.70	176.87	39.43	296.00	4,570	54,840	

7 栄養基準

		エネルギー (kcal)	たん ぱく 質 (g)	カル シウ ム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン				
						レチノ ール (μ g)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)	
小学校	低学年	学校給食基準量	610	18.0	325	2.65	135	0.40	0.45	21
		千歳市の献立	666	24.0	344	2.40	292	0.50	0.52	26
	高学年	学校給食基準量	715	22.5	375	3.50	155	0.45	0.50	24
		千歳市の献立	693	27.8	360	2.70	310	0.53	0.54	27
中学校	学校給食基準量	850	28.0	420	4.00	210	0.60	0.60	33	
	千歳市の献立	800	31.0	383	3.30	327	0.59	0.88	30	

〔7〕生徒指導

1 不登校児童生徒数

(病気・けが以外で1カ月に14日以上休んだことが1回でもあった児童生徒)

	平成20年度	平成21年度	増減
小学校	18 (男 8 女 10)	15 (男 8 女 7)	- 3
中学校	63 (男 32 女 31)	71 (男 34 女 37)	+ 8
計	81 (男 40 女 41)	86 (男 42 女 44)	+ 5

※長期欠席は小学校が3名減少、中学校は8名の増加となった。

※小学校は半分の児童が学校復帰をした。

2 非行事故件数

	平成20年度	平成21年度	増減
小学校	28	25	- 3
中学校	59	57	- 2
計	87	82	- 5

※小学校においては、集団による万引き(お菓子)の報告が多い。

※中学校においては、万引き・飲酒・喫煙の報告が多い。

3 その他の統計

	平成20年度	平成21年度	増減
いじめ	16	6	-10
交通事故	16	14	- 2
一般事故	9	17	+ 8
不審者	34	28	- 6
不審電話	2	1	- 1

※不審者・不信電話においては、減少傾向にある。

※一般事故が、増加傾向にある。

4 相談業務対応種別件数

相談種別	平成20年度	平成21年度	増減
電話で対応した相談	34	51	+17
来訪で対応した相談	95	110	+15
訪問で対応した相談	1	0	- 1
その他の方法で対応した相談	5	9	+ 4
合計	135	170	+35

※電話、来訪相談ともにいじめ・不登校に関する相談が多い。

※保護者からの相談が多い。

5 不登校児童生徒のための学校適応指導教室『おあしす』について

(1) 設置の目的

不登校児童生徒の増加と多様化に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

(2) 指導の方針

- ① 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で生活の立ち直りを図り心の開放を促す。
体験的活動や集団活動を通して、いろいろなことに興味関心を広げ、対人関係の改善を図る。
- ② 家庭や在籍校、各関係機関（子育て推進課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

(3) 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒。

(4) 通級児童生徒数（見学通級は含まず）

	平成20年度	平成21年度
小学校	1（男0女1）	4（男1女3）
中学校	17（男9女8）	15（男7女8）
計	18（男9女9）	19（男8女11）

(5) 開設時間

月～木 9:30～14:30

金 9:30～12:00

(6) 活動内容

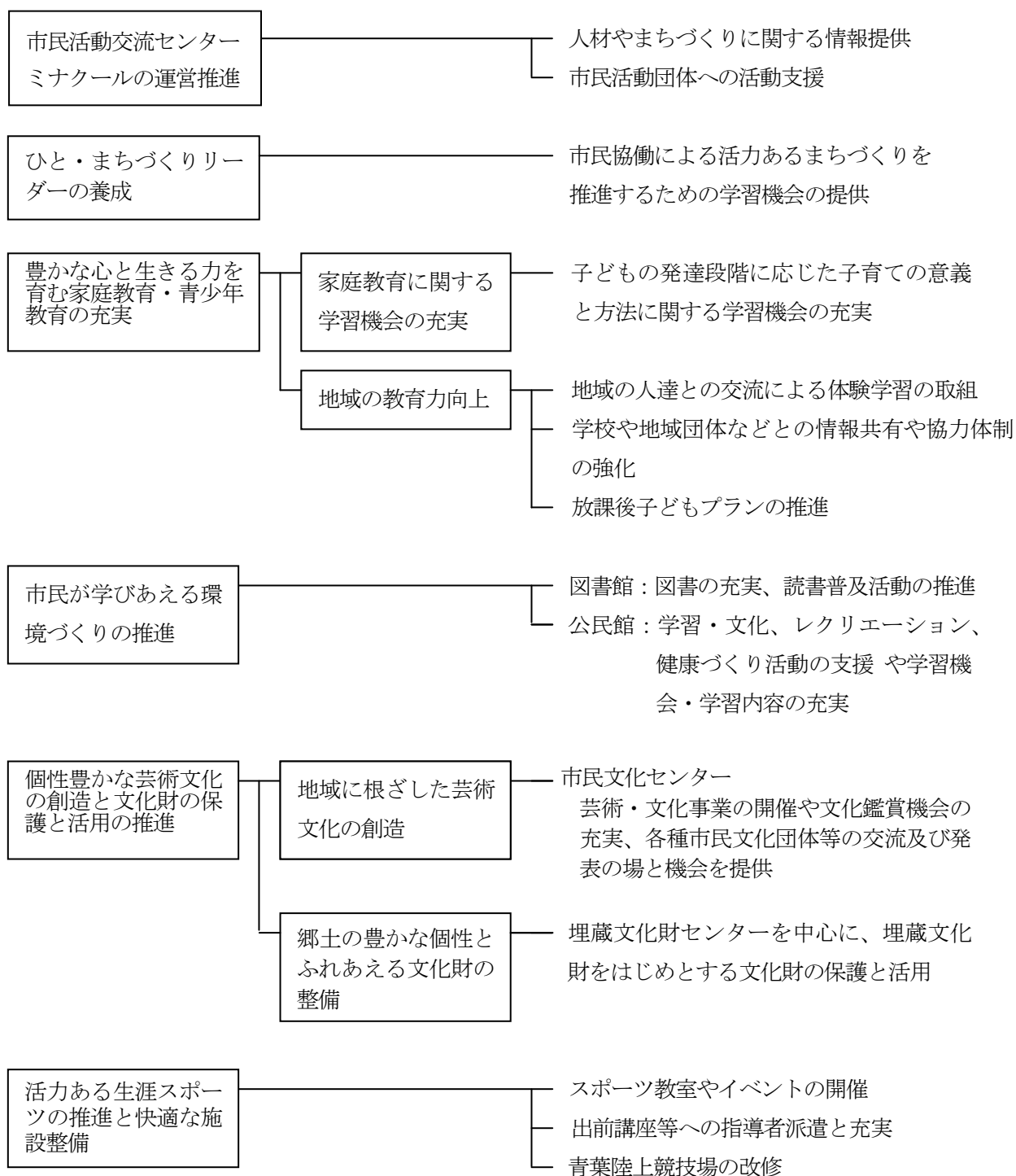
- ・個別活動 児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。
- ・学習時間 個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。
- ・マイタイム 「目的を持って活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。
- ・集団活動 児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

21年度に実施した主な集団活動

- ・各種スポーツ …… バスケット、バドミントン、ミニバレー、卓球、パークゴルフ、ドッジボール、歩くスキー等
- ・コミュニケーション活動 …… 各種話し合い(行事の事前学習・相談・準備・調理実習)、新任教諭活動交流会、適応指導教室交流会(スポーツ等)、クリスマス会、卒業生を送る会、お別れ会
- ・文化・学習活動 …… 図書館の活動、映画鑑賞、書道教室、そば打ち教室等
- ・自然体験 …… 農園作業、野外炊飯、札幌モエレ沼公園、札幌芸術の森
- ・社会体験活動 …… ボランティア活動(青葉公園ごみ拾い)札幌テレビ(STV)局等
- ・宿泊研修 …… ネイパル洞爺(2泊3日)
- ・制作活動 …… 調理実習、クラフト、陶芸、農園看板作り

VI 社会教育

〔1〕社会教育の主な施策



〔2〕社会教育委員・公民館運営審議会委員

1 社会教育委員

氏名	所属団体
村井政孝	千歳市退職校長会
小石和博	千歳市校長会
佐藤久俊	千歳市校長会
長谷川誠	千歳科学技術大学
松本千恵子	千歳市女性団体協議会
長尾正直	千歳市PTA連合会
数藤和子	千歳市文化団体連絡協議会
開発治	千歳市体育協会
大野知之	千歳市町内会連合会
尾本則子	千歳市子ども会育成連合会
内山雅夫	千歳市子ども活動支援ボランティア
松永美弥子	千歳きらきら委員会
浜一穂	泉沢向陽台スポーツクラブ事務局長
野田善郷	千歳市体育指導委員協議会
池内秀樹	公民館教室講師

(平成22年4月1日現在)

2 公民館運営審議会委員

氏名	所属団体
村井政孝	千歳市退職校長会
佐藤久俊	千歳市校長会
松本千恵子	千歳市女性団体協議会
数藤和子	千歳市文化団体連絡協議会
開発治	千歳市体育協会
大野知之	千歳市町内会連合会
尾本則子	千歳市子ども会育成連合会
内山雅夫	千歳市子ども活動支援ボランティア
浜一穂	泉沢向陽台スポーツクラブ事務局長
池内秀樹	公民館教室講師

(平成22年4月1日現在)

〔3〕社会教育の対象

千歳市は、道央地区の中核的都市として人口が着実に増加しており、道内において平均年齢が一番低い若いまちです。

平成17年の国勢調査によると、本市の第3次産業の従事者は全就業者の77.0%を占め、中でも公務従事者が22.6%と、全道でもその割合が多い都市となっています。これは、陸空自衛隊の駐屯によるもので、性比（女子100人に対する男子の数）は105.7、生産年齢人口（15～64歳）は69.5%と高い比率を示しています。

この他、本市は工業団地進出企業、空港関係、そして自衛隊を含む公務員従事者が多いことから人口異動が極めて激しく、年間に約12,000人もの人々が転出・転入しています。

このような、道内他都市にはみられない特有の人口形態のなかで、本市の社会教育は展開されています。

〔4〕社会教育事業（平成21年度）

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
ママさん教室	5月～7月 9月～11月	市民 文化センター等	母親と幼児等	子育て中の母親たちを対象に、子供の発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供し、また地域ぐるみで子育てを行うために支援する人材を育成・活用する。
10代からの子育て応援セミナー	8月、12月 1月、3月	市民 文化センター等	市 民	思春期や思春期を迎える子を持つ親を対象に、親としてのあり方等について学習する機会を提供する。
男性のための子育て講座	6月、12月、 2月	市民 文化センター	父親(保護者)と 子ども	講義や実践を通じて、父親としてのあり方や子どもとの関わり方について考える機会を提供し、男性の家庭教育への参画促進を図る。
子育て講座(出前子育て講座)	年7回 (出前講座:随 時)	地域集会施設、 事業所等	子育てサークル、 事業所等	子育て中の親に限らず、多くの市民に、地域ぐるみで子育てを支援することの大切さについて考える機会を提供し、地域における家庭の教育力向上を図る。
家庭教育セミナー	8月、2月	市民 文化センター	市 民	
子ども放送局 チャレンジ教室	年10回 (出前講座:随 時)	教育委員会1階 会議室等	小・中学生 (出前講座各5名 以上)	ものづくりなどを通しての体験活動の機会を提供する。併せて、地域ぐるみで子どもの育成をしていくために子ども活動を支援する人材を育成・活用する。
千歳市・指宿市青少年 相互交流事業	8月1～4日 12月25～ 28日	千歳市 ⇔ 鹿児島県指宿市	小学校6年生	未来ある子供達の交流を通して姉妹都市の友好関係が発展するよう相互交流を行う。
子ども活動支援センター	4月～3月	教育委員会生涯 学習課内	ボランティア (15歳以上)	青少年の奉仕活動・体験活動の機会充実を図るため、情報提供やコーディネートを行い青少年活動の推進を図る。
世代交流ふれあい教室	2校	北陽小学校 千歳小学校	校区内の児童・ 地域住民	青少年や地域の人々等、異世代・異年齢による体験学習や交流機会の充実を図り、地域における世代を超えた交流と相互理解の場を提供する。
市民教養セミナー	6月～3月 (年16回)	市民 文化センター等	市 民	社会の急激な変化に対応した市民の学習ニーズに応えるとともに学習機会を提供する。

事業名	開催月日	会 場	対 象	趣 旨
パソコン講習会	5月～3月 (年50講座)	市民ギャラリー IT講習室	市 民	情報化に積極的に対応していけるようパソコンの操作技術の習得機会の提供を、市民団体との協働により実施する。
千歳学出前講座	随 時	公共施設等	市内に在住、通学、勤務している5名以上の団体	市民と市民の学びあいによる学習機会の充実や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が情報の共有をもとに、協働して生涯学習によるまちづくりを推進する。
千歳市若返り学園	4月～3月	市民文化センター等	60歳以上の市民	明るく健やかに豊かで生きがいのある生涯を送るために必要な学習機会を提供する。
千歳高星大学	4月～12月 (2年制)	市民文化センター等	概ね60歳以上の市民	豊かで生きがいのある人生を創造できるよう組織的な学習機会を提供する。
英語暗唱コンテスト	11月1日	総合福祉センター	中学生以上	一番身近な外国語である英語を通じて、国際理解と国際感覚の涵養を図り、国際性豊かな人材を育成する。
英会話教室	2月～3月	市民文化センター等	高校生以上	
フレンドリーコンサート 千歳合唱祭	7月26日	市民文化センター	市内の合唱団体	合唱を通じて技術の向上と文化活動の振興を図ると共に、市民へ芸術鑑賞機会を提供する。
千歳市民文化表彰	11月4日	ホテル日航千歳	個人、団体	市の文化の向上・振興を図るために、顕著な功績があった個人・団体等を表彰する。
はたちのつどい	1月11日	市民文化センター	新成人	新成人の門出を祝い、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高めてもらう契機とする。
社会教育関係団体登録・人材バンク登録及び情報提供事業	通 年		市 民	市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために活動団体や指導者を登録し情報提供する。
放課後子ども教室推進事業	6月～3月 毎週水曜日	北栄小学校	北栄小学校 在籍児童	放課後の子どもたちの安全で安心した活動場所を確保し、地域住民による支援のもと、学習やスポーツ・文化活動の実施、また、学年や世代を超えた交流の機会を提供する。

〔5〕文化財

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。遺跡は主に千歳川やその支流、長都川、ユカンボシ川流域などで発見され、平成22年4月までに286遺跡にのぼり、国指定史跡2カ所、重要文化財3件、市指定史跡1カ所、有形文化財3件があります。

埋蔵文化財以外では、近世江戸時代から現代までの歴史、文化を伝える市指定有形文化財3件、無形文化財1件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財1件が指定されています。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

(所管：千歳市教育委員会埋蔵文化財センター 千歳市長都42-1 電話24-4210)

1 国指定史跡

(1) ウサクマイ遺跡群 千歳市蘭越（昭和54年5月23日指定）管理団体：千歳市

市街地から約5km、支笏湖に向かう途中に、名水百選に選ばれたナイベツ川湧水を源とするナイベツ川が流れています。全長わずか2.5kmの小さな川ですが、約7,000年前の縄文時代早期からこの川を中心に人々が暮らし始めました。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残され、現在は川の両岸に残る21カ所の遺跡を中心に146haに及ぶ広大な範囲が史跡として保護されています。



ウサクマイC遺跡見学コース入口

(2) キウス周堤墓群 しゅうていぼぐん 千歳市中央（昭和54年10月23日指定）管理団体：千歳市

中央地区には、約3,000年前の縄文時代後期につくられたお墓を見ることができます。地面を丸く掘り、掘った土を周囲に土手状に積み上げ、内側を墓地にしています。周囲に堤があることから「周堤墓」と呼ばれるこのお墓は、全部で8基あり、一番大きなものは土手の直径が75mに及び、仮に1人が1日1×1×1mの穴を掘ったとして、25人でおよそ4カ月かかることとなります。

指定面積は約5万㎡、地表面から確認できる日本一大きな縄文時代のお墓です。



キウス周堤墓群

2 国指定重要文化財

どうぶつがた どせいひん
(1) 動物形土製品 昭和 51 年美々4 遺跡出土 市所有 (昭和 54 年 6 月 6 日指定)

頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしています。全長 31.5 cm、最大幅 16.2 cm、最大厚 9.8 cm、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約 2,500 年前の縄文時代晩期につくられたもので、埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

どせいかめん
(2) 土製仮面 昭和 61 年ママチ遺跡出土 国所有 (昭和 63 年 6 月 6 日指定)

ママチ川のほとりで発掘した約2,300年前の縄文時代晩期のお墓から発見されました。縦横18cmで、ちょうど、お祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさであり、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表しています。当時、この土面は墓標に付けられていたと考えられています。実物は江別市の北海道埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。



動物形土製品



土製仮面

(3) 北海道美々8 遺跡出土品 千歳市美々 (平成 17 年 6 月 9 日指定)

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8 遺跡 (低湿部) の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする 1,164 点の出土品です。出土品は、調査を実施した (財) 北海道埋蔵文化財センターにおいて保管され、一部が展示されています。

3 国指定重要無形民俗文化財

(1) アイヌ古式舞踊 千歳アイヌ文化伝承保存会 (平成6年12月21日構成団体に指定)

アイヌとはアイヌ語で「人間」という意味を持つ言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」があります。千歳地方で傳承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤイサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。



4 市指定文化財

かまかじんじゃべんざいてん み ず し
(1) 千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子 有形文化財 千歳神社所有(昭和46年9月16日指定)

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きなくぼみ」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化2(1805)年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並 山田鯉兵衛嘉充(やまだりへえよしみつ)が箱館奉行の羽太正稜(はぶとまさやす)に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに記されています。埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。



釜加の厨子(表)



厨子背面に書かれた由来文

わらびてとう
(2) 蕨手刀 有形文化財 市所有(昭和55年7月21日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。柄の部分の形が春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。この種の刀は、1,300年ほど前の東北地方の遺跡から多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっています。一振りは鞘が残っている大変珍しい例で、埋蔵文化財センターに展示しています。



蕨手刀

(3) 美々貝塚 史跡 千歳市美々758番地 市所有(昭和52年4月23日指定)

およそ1万2千年前、粘土を焼いて作った器「縄文土器」が作られるようになりました。当時は、やや寒冷な気候でしたが、その後、次第に温暖化が進み、氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなりました。

その結果、海岸線は平野の奥まで入り、千歳では美々駅のあたりまでが海でした。それは、現在の苫小牧の海岸から17kmも内陸になります。

暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入江ができて良い漁場となりました。

美々では約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し、貝殻を直径4m、高さ1.2mも積み上げた貝塚を残しています。昭和51年より公開展示しています。



美々貝塚

(4) 磨製石棒 有形文化財 市所有 (昭和 52 年 4 月 23 日指定)

キウス周堤墓群のひとつのお墓から見つかった石の棒。

長さ57cm、重さ710gで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れています。

約3,000年前の縄文時代後期に作られたもので、現在は埋蔵文化財センターに展示しています。



磨製石棒

(5) 男性土偶 ^{どぐう} 有形文化財 市所有 (昭和 52 年 4 月 23 日指定)

蘭越の内別川付近で見つかった板状の人形 (=土偶) で、眉や鼻などの顔の表現がママチの土製仮面とよく似ています。

縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性と、はっきりわかるものとしては、全国でも大変、珍しいものです。

全長 14.5cm、厚さ 0.9cm、縄文時代晩期に作られたと考えられており、現在は埋蔵文化財センターに展示しています。



男性土偶

(6) 駅通看板 ^{えきていかんばん} 有形文化財 新保義美氏所有 (昭和 52 年 4 月 23 日指定)

明治 5 (1872) 年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月 6 回ずつ郵便物を運んでいました。

当時、千歳で郵便局 (郵便取扱所) となったのが、新保旅館であり、当時を伝える縦120cm、横94cmの看板が大切に保存されています。



駅通看板

(7) 泉郷獅子舞 ^{いずみさと} 無形文化財 泉郷獅子舞保存会 (昭和 54 年 10 月 25 日指定)

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯があります。

原野だった泉郷は、明治20 (1887) 年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人々が同29年頃に伝えたと言われていました。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年 9 月に泉郷神社に奉納されますが、その勇壮さは、今も人々の心をかきたてています。



泉郷獅子舞

(8) アイヌの伝統的芸能と工芸技術 無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会

(平成5年5月20日指定)

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウエペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル（刺しゅう）・チタルペ（ゴザ編み）などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

歌と踊り：ホリッパ（輪踊り）・ハラルキ（鶴の舞）・ヤイサマ（即興の歌）・ウボポ（座り歌）

語　　り：ユカラ（神謡・口承の英雄・神話伝説）・ウエペケレ（昔話）

祭　　祀：カムイノミ（神様を迎える儀式）・イチャルパ（先祖の慰霊祭）

工芸技術：イナウケ（イナウ作り）イクパシイ作りなどの男に伝わる技術
チタルペ（ゴザ）・刺繍やマタンブシ（鉢巻）作りなど女に伝わる技術

料　　理：シト（団子）・シケレペ（キハダの実の料理）など



模様入りのチタルペ・刺繍が施された
着物とマタンブシ



アシリチェップノミにつくられたヌサ（祭壇）

やませんてつきょう
(9) 山線鉄橋 有形文化財 市所有 (平成 11 年 8 月 24 日指定)

北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）であり、明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられました。大正12（1923）年に、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道「山線」）の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26（1951）年の山線廃止後は道路橋として利用されていました。

平成7年から9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的な保存が図られました。現在は「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっています。

山線鉄橋



遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	末広遺跡 (380年前) フレドイヒのチャシ ペサのチャシ シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ
江戸	アイヌ	
織豊		
室町		
鎌倉		
平安	擦文	千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅竪穴遺跡
奈良	続縄文	蕨手刀 (1,300年前) ふ化場1遺跡 ママチ高台遺跡
古墳	弥生	
弥生		
縄文時代	晩期	(2,000年前) ママチ遺跡 梅川3遺跡
	後期	男性土偶、土製仮面 動物形土製品
	中期	キウス周堤墓群、石棒
	前期	丸子山遺跡環壕 イヨマイ6遺跡
	早期	美々貝塚 (10,000年前) メボシ川2遺跡 祝梅上層遺跡 (20,000年前) 柏台1遺跡 祝梅三角山下層遺跡 丸子山遺跡
旧石器時代		

末広遺跡



擦文時代の竪穴式住居跡が102軒も発見された、道内でも屈指の遺跡です。

近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

男性土偶



国指定史跡のウサクマイ遺跡群（蘭越）があるナイベツ川近くで見つかった板状の男性土偶です。眉や鼻など、顔の表現が土製仮面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、はっきり男性と分かるのは、全国的にもたいへん珍しい例です。



美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ（山の神＝ヒグマ）の頭骨が祭られていました。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。



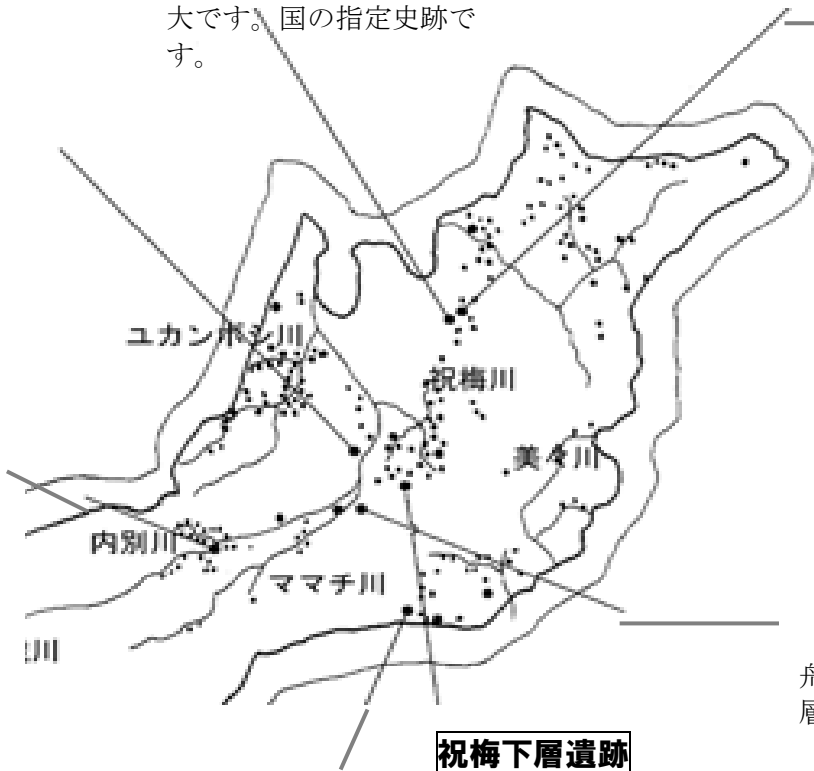
キウス周堤墓群

縄文時代後期末（3,200年前）の集団墓地で、7基がまとまっています。最大のものは外径75m、内径34m、土手の高さが5.4mもあり、今も地表面で確認できるお墓としては日本最大です。国の指定史跡です。



磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは57cmあります。両頭に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。



ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下2mで発見された丸木舟です。長さ7.3m、幅50cmで堆積した地層から18世紀以前のものとわかります。



祝梅下層遺跡

美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。



〔6〕社会教育施設

1 千歳市立図書館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市真町2196番地の1	電話0123-26 - 2131
開設	昭和63年2月1日	
建築構造	RC造及びSRC造 併用構造地上2階地下1階	
敷地面積	13,062.08 m ²	
建築面積	2,233.87 m ²	
延床面積	1階	2,130.25 m ²
	2階	380.14 m ²
	地階	305.19 m ²
	合計	2,815.58 m ²



(2) 沿革

昭和25年6月に札幌C I E図書館千歳分館として図書2,100冊の寄贈を受け発足しました。29年、千歳公民館の開館に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37年には千歳市民会館内に移転し、名称も公民館図書室となりました。その後、46年には、千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称されました。

49年に市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体、個人から数多くの図書が寄贈されたことから、図書室はめざましく充実し、その結果、51年4月に待望の市立図書館が誕生することになったものです。53年から図書館分室を3カ所設置（平成6年度閉室）しましたが、その後、図書室の利用者数、蔵書の増加により狭隘となり、現在の場所に新築することが決定し、60年度基本設計・実施設計を経て、61年7月に工事着工、62年11月竣工し、63年2月に開館しました。また、平成6年4月には待望の移動図書館車「ブックくん」の運行を開始しました。

インターネットの普及により、13年1月に図書館ホームページを開設しました。16年4月千歳駅市民サービスセンターの開設により図書の取次ぎを開始し、翌17年2月には3支所においても図書の取次ぎを始め、同年4月からはインターネットによる図書の予約受付を開始しました。また、子どもの読書環境の整備・充実に向けて17年11月に「千歳市子どもの読書活動推進計画」を策定し、18年8月には「千歳市子どもの読書活動推進連絡会」を設置し、「千歳市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱」を制定しました。

19年4月からは、経費削減や行政の効率化・サービスの向上を目指すため、民間業者による経営ノウハウを活用し、指定管理者が管理・運営を行っています。

なお、21年4月からは、2代目の移動図書館車の運行を開始しました。

(3) 運営方針

- ・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
- ・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
- ・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
- ・温かさやすらぎが感じられる図書館
- ・子どもへのサービスを重視する図書館
- ・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
- ・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

(4) 事業実績 (21年度)

・上映会 (21回)	247人	・おはなし会 (78回)	1,423人
・古典文学読書会 (24回)	185人	・子どもの読書週間記念行事 (1事業)	120人
・手作り絵本教室 (5回)	109人	・童話創作講座 (6回)	90人
・千歳市民文芸合評会 (1回)	17人	・ふるさとポケット協賛事業 (2事業)	636人
・読書週間記念行事 (1事業)	82人	・市民読書グループ支援 (43回)	246人
・開館記念行事 (1事業)	81人	・こども読書推進事業 (2事業)	231人
・文章実践教室 (1回)	30人	・講演会 (2事業)	200人

(5) 利用案内

- ① AV コーナーは、LD や DVD・CD を主体とし、音と画像、映像による資料を個人で見たり聴いたりすることができる。収容人員は 19 ブース・25 名で、ソフト数は全部で 10,882 タイトルを用意している。
- ② AV 室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事（講演会、映画会、おはなし会等）を行うところで、収容人員は約 100 名。
- ③ 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架群を配置し、12 万冊の収蔵能力をもっている。
- ④ 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー（小学校高学年、中学生向）、閲覧席、軽読書席、書架群、おはなしコーナー（読み聴かせ、紙芝居等）がある。4 万冊の収蔵能力をもっている。
- ⑤ 新聞・雑誌コーナーは、新聞、雑誌、パンフレット等が置いてある軽読書のコーナー。
- ⑥ 閉架書庫は、10 万冊の収蔵能力をもち書架は、スチール製集蜜移動書架を設置している。
- ⑦ 会議室は、読書会等の主催事業、来客応接室に設置され、収容人員は約60名。

(6) 図書状況

21年度	開館日数	貸出人数	一日平均貸出人員	貸出冊数	一日平均貸出冊数	登録者数	市民一人当たり貸出冊数
	334	129,561	388	701,408	2,100	2,135	7.59

(7) 蔵書冊数

21年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,557	7,429	19,486	29,586	18,386	17,862	
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	6,987	19,305	4,071	106,225	10,882	37,950	

(8) 分類別貸出冊数

21年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,085	22,145	30,820	38,931	34,905	86,239	
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	17,567	48,516	7,383	246,682	8,572	153,563	

2 千歳市立千歳公民館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市真町 176 番地の 3	電話 0123-23 - 2740
開設	昭和 46 年 4 月 10 日	
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建	
敷地面積	2,930.50 m ²	
建築面積	750.44 m ²	
延床面積	1,573.88 m ²	
会議室	5 室 23.46 m ² ~68.40 m ²	
和室	1 室 44.40 m ²	
講習室	1 室 54.00 m ²	
大集会室	1 室 499.30 m ²	



分 館

分館名	延面積	開館年月日	備考
泉郷分館	353.16 m ²	昭和 24.04.10	S54 増築
協和分館	108.54 m ²	昭和 24.10.01	S48 改築
長都分館	358.55 m ²	昭和 25.05.01	S59 増築
新川分館	215.30 m ²	昭和 28.08.18	H16 新川連合会館新築
中央分館	609.87 m ²	昭和 30.11.01	H11 コミセン併設
幌加分館	124.21 m ²	昭和 36.11.01	S56 改築
根志越分館	223.56 m ²	昭和 37.09.24	S55 改築
東丘分館	149.85 m ²	昭和 37.11.01	S57 改築
釜加分館	608.68 m ²	昭和 38.03.01	H9 コミセン併設
駒里分館	268.92 m ²	昭和 43.10.01	S63 増築
長都開拓分館	169.29 m ²	平成 07.04.01	

(2) 沿革

昭和22年に千歳小学校の一部を借り新設し、29年には東雲町に独立した公民館を開設しました。37年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称されました。その後、46年4月には現在地に移転独立し、新築開館され、現在に至っています。平成20年4月からは、経費削減や行政の効率化・サービスの向上を目指すため、民間による経営ノウハウを活用し、指定管理者が管理・運営を行っています。

(3) 運営方針

- ① 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
 - ・ 生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
 - ・ 多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
- ② 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
 - ・ 高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
 - ・ 地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
- ③ 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
 - ・ 高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
 - ・ 地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(4) 公民館教室開講状況 (平成 21 年度)

	昼間教室		夜間教室		
	教室名	人員(名)	教室名	人員(名)	
千歳公民館	太極拳	35	英会話中級	12	
	三味線初級	7	英会話初級	28	
	三味線中級	8	パソコン基礎講座	20	
	実践英会話	22	タップ	12	
	やさしい英会話	22	きもの着付	6	
	フォークダンス	10	フラダンス	28	
	木彫	13			
	囲碁	18			
	パソコン入門	15			
	リンパセラピー	20			
	ステップアップパソコン・水	18			
	ステップアップパソコン・土	9			
	市民文化センター	ハワイアンダンス	25	ストレッチ体操	32
ふっくらパン		28	社交ダンス	52	
3B体操		30	気功	27	
お料理教室		30	体質改善エアロ	39	
ヘルシー体操		39			
ストレッチ体操		36			
陶芸		12			
市民ギャラリー	粘土工芸	9	書道	16	
	書道	21			
	絵画(油絵)	13			
	絵手紙	23			
昼間教室 合計		計 454名	夜間教室 合計		計 272名
総計 34 教室、726 名 (男性 135 名、女性 591 名)					

(5) 公民館利用状況 (平成 21 年度)

	公 民 館		分館 (11 分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	1	10	青少年	48	1,107
社会学級	1	25	社会学級	135	1,958
婦人学級			婦人学級	38	282
文化関係	1,057	11,524	文化関係	258	5,800
スポーツ	119	2,369	スポーツ		
集会・会議	52	2,092	集会・会議	229	2,493
その他一般	43	13,106	その他一般	69	962
計	1,273	29,036	計	777	12,602

3 千歳市民文化センター

(1) 施設の概要

所在地 千歳市北栄2丁目2番11号 電話26 - 1151
開設 昭和59年4月1日
建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下2階
敷地面積 16,492.42㎡
建築面積 6,870.10㎡
面積 13,015.68㎡



(内訳)

地階1 74.84㎡ (電気、機械室)
地階2 1,274.20㎡ (電気、機械室)
1階 4,260.84㎡ (リハール室、プラネタリウム、控室)
2階 2,973.62㎡ (中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室)
3階 2,763.00㎡ (大ホール、視聴覚室、中会議室)
4階 1,396.26㎡ (大会議室、展示ホール、小会議室)
塔屋 272.92㎡ (電気、機械室)

(2) 沿革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術・文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年度に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日に全館供用開始しました。

平成10年1月から3月にかけて、大・中ホールの音響、照明の改修整備を行っています。

平成17年4月から1年間休館して改修整備を行い、18年4月7日にリニューアルにより全館供用を開始しました。

施設は、大ホール(客席1,275)、中ホール(客席412)、会議室、視聴覚室、調理教室等研修室、プラネタリウム投影室などを備え、開館以来、公演事業、興行、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されています。

19年4月からは、経費の削減やサービスの向上を目指すため、民間業者による経営ノウハウを活用し、指定管理者が管理運営を行っています。

(3) 運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービス向上に努めています。

(4) 主催・主管事業 (21年度)

プラネタリウム事業

事業名	開催日	入場者数	趣 旨
プラネタリウムラウンジ vol.2	11月15日	71人	バイリンガルDJ鹿島千穂の進行により、「星のお話」と「竹形貴之」クラシックギターコンサートの2部構成で開催

自主文化事業

事業名	開催日	入場者数	趣 旨
展示ホール 嶋田 忠写真展	通年	—	展示ホールの利用者がいない期間を利用して、月毎に写真を選定し展示
三浦 可栄箏リサイタル	4月18日	385	全国で活躍する千歳出身の三浦可栄箏リサイタルを地元初開催
Neo-Classic Familie 2009カミイの風 中西圭三&SEASONS	7月22日	355	千歳で開催されるプロゴルフトーナメント「セガサミーカップ」の大会テーマソングを歌う中西圭三と女性弦楽ユニットSEASONSによるコンサート
札幌フルメンバーinちとせ	6月6日	874	札幌フルメンバー及び東京からのサポートメンバー総勢105名の演奏者によるクラシックコンサートを開催
水彩「遙」作品展示	6月19日 ～7月31日	—	水彩画愛好団体「遙」による水彩画作品を展示
2009スカイピア&YOSAKOI in千歳	7月19日	—	FMノースウェーブを活用し、ビアフェスタ会場でラジオ放送ブースを設置
日本映画inちとせ2009	8月8日 9日	115	往年の日本映画を低価格で提供・上映
さかなクンのぎょぎょとびっくり おさかなの話	9月21日	1,851	千歳サケのふるさと館と共催し人気タレントさかなクンの講演会を開催
和紙ちぎり絵展示	11月17日 ～29日	—	千歳市内で活動をする「こうぞの会」によるちぎり絵の作品を展示
演劇「山を越え川を越え」	1月31日	63	劇団「風の子」による演劇を幼児から小学校低学年向けに上演
谷本光with寺地美穂コンサート	2月7日	301	札幌市出身の谷本光と寺地美穂を迎え、ジャズコンサートを開催
「こども劇場 人形劇&読み語り」	2月28日	93	劇団オペレ人形劇とヨミガタリストまつつによる読み語りを上演

文化交流事業

事業名	開催日	入場者数	趣 旨
舞台裏体験ツアー	9月20日	7	子ども達を対象に、普段見ることの出来ない舞台裏を開放
親子手作りお菓子教室	8月1日	10	人気菓子店店長を迎え、親子参加型によるお菓子作りを实践
オーケストラ体験教室	12月12日	14	オーケストラのリハーサルを市民に公開し、楽器の説明などオーケストラを身近に体験
クリスマスファミリーコンサート 2009	12月13日	786	千歳フィルハーモニーオーケストラによるコンサートを開催

(5) 利用案内

- ① 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、走行式反射板（電動）を採用するなど全国有数の音響機能を有しています。
昭和60年4月には、札幌交響楽団により黒沢明監督「乱」の音楽収録が行われました。
- ② 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置しています。
- ③ プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。
- ④ 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75名程度の研修が可能。
- ⑤ 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できます。
- ⑥ 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっています。
- ⑦ 陶芸教室は、土練機、電動ロクロ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行えます。

(6) 利用状況 (21年度)

施設区分		大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計
利用件数		952	264	2,896	122	4,234
利用 件数 の 内 訳	式典	54	13	175		242
	講演・集会	77	55	163		295
	会議・研修等	107	22	1,164		1,293
	邦楽・邦舞	55	32	225	0	312
	洋楽・洋舞	624	121	505	1	1,251
	演劇	0	0	6	0	6
	映画	3	7	0	0	10
	公民館教室	0	0	316		316
	プラネタリウム				121	121
	展示・その他	32	14	342	0	388
利用人数		70,372	22,855	70,445	2,081	165,753

4 千歳市民ギャラリー

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 電話42 - 5214
開設 平成7年4月15日
建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下1階
敷地面積 746㎡
建築面積 594㎡
延床面積 2,418㎡

(内訳)

地階 1 83㎡ (空調・給排水・ボイラー室)
1階 573㎡ (展示ホール1)
2階 530㎡ (展示ホール2)
3階 594㎡ (研修室、事務室)
4階 594㎡ (市民活動交流センター ミナクール、女性団体協議会、交流室)
塔屋 44㎡ (エレベーター機械室)



(2) 沿革

千歳市4期総合計画「人間性と個性を培う“教育文化都市・ちとせ”」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実を図るため、平成7年4月15日に全館供用を開始しました。

19年4月からは、経費削減やサービスの向上を目指すため、民間業者による経営ノウハウを活用し、指定管理者が管理運営を行っています。

(3) 運営方針

市民文化センターの分館として位置付け、市民の文化活動の拠点となるよう、芸術文化の創造や発表の機会を積極的に提供しています。

(4) 自主文化事業 (21年度)

事業名	開催月日	入場者数
北海道現代具象展	8月26日～9月3日	455
第1回 合同写真展	11月11日～11月18日	561
志村 貞雄油彩展	11月25日～12月2日	203
クリスマスリース教室	11月28日	20
嶋田 忠収蔵写真展	2月17日～2月21日	281
第14回千歳北陽高等学校校外展	3月20日～3月21日	446

(5) 利用案内

- ① 展示ホールは、1階260㎡、2階261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われています。
- ② 研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えています。

(6) 利用状況 (21年度)

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		237	544	781
利用 件数 の内 訳	研修・講習	1	385	386
	展示	236	3	239
	公民館教室	0	154	154
	その他	0	2	2
利用人数		20,535	5,530	26,065

5 千歳市民活動交流センター 「ミナクール」

(1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 千歳市民ギャラリー4階 電話0123-24-0847
 開設 平成18年8月1日
 施設設備 打合せコーナー、交流スペース、談話室兼児童室、作業コーナー、
 情報コーナー、掲示コーナー、図書コーナー、展示コーナー、相談窓口
 利用時間 9:00～21:00 (休館日:毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始)

(2) 沿革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、自主的な市民活動や交流を積極的に推進することを目的に設置されました。



千歳市民活動交流センター
ミナクール

(3) 利用案内

対象: 市民活動をしている団体や個人
 使用料: 無料 (印刷機等一部有料)

(4) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課

(5) 利用状況 (平成21年度)

(単位: 人)

総利用者数	利用室別							
	打合せコーナー	交流スペース	談話室兼児童室	図書コーナー	作業コーナー	情報コーナー	展示コーナー	見学相談
8,423	4,056	638	970	3	1,557	479	392	328

6 千歳市青少年会館

(1) 施設の概要

所在地	千歳市東雲町1丁目10番地	電話 23-1945
開設	昭和44年12月1日	
建築構造	鉄骨造一部2階建	
敷地面積	704.60㎡	
延床面積	498.55㎡	

(内訳)

体育室	231.12㎡
研修室(1)	38.43㎡
研修室(2)	49.41㎡
和室	11.07㎡
事務室	27.45㎡



千歳市青少年会館

(2) 沿革

北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設されました。

(3) 利用案内

対象	児童生徒及び学生、勤労青少年
使用料	無料

(4) 所管課

教育委員会教育部文化施設課

(5) 利用状況 (平成21年度)

(単位：人)

総利用者数	利用者数			室別利用状況			
	勤労青少年	児童生徒	その他	体育室	集会室	研修室	その他
13,109	-	4,717	2,218	8,500	1,853	2,402	354

〔7〕財団法人千歳青少年教育財団

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3001

設立 昭和57年3月12日

1 設立目的

千歳市における青少年の健全育成や社会教育の普及振興のほか、社会教育関係施設の設置や管理運営に関する事業を行い、北海道の社会教育の振興に寄与することを目的として設置しました。

2 主な事業内容

- (1) 青少年及び市民のための社会教育の学習講座を開設し、講習会、展示会その他事業を開催し、関係事業に協力する。
- (2) 青少年教育事業その他の教育に関する情報資料を収集・調査研究し、市民に提供する。
- (3) 『千歳サケのふるさと館』を設置し、維持運営する。
- (4) 千歳市の指定を受けて、千歳市サーモンパークの管理を行う。
- (5) 青少年及び市民のための社会教育資料を刊行する。
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯する事業を行う。

3 千歳サケのふるさと館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3001

開設 平成6年9月10日

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階

敷地面積 2,981.672㎡

建築面積 1,510.580㎡

(内訳)

地階 810.621㎡

1階 1,249.822㎡

2階 847.306㎡

3階 84.488㎡



(2) 沿革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車（以下「インディアン水車」）は、世界に例を見ないユニークな施設であり、1896年に設置されました。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核となる「淡水魚水族館施設」として建設されました。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図ります。

(3) 利用案内

支笏湖から流れ出る冷たく清澄な水をたたえた千歳川のほとりに建てられた施設は、サケと北の淡水魚の一大ミュージアムです。

館内にはいろいろな種類のサケやその仲間、イトウ、シロチョウザメなど、大型淡水魚が悠々と泳ぐ巨大水槽をはじめ、サケの生涯や生態が観賞できる大型マルチビジョンなど、様々な施設があり、サケや淡水魚の生態を楽しく学ぶことができます。また、1級河川千歳川に直接設けられた水中観察窓は世界でもまれな施設で、四季の移ろいととも自然の川を往来するいろいろな魚を見ることができます。特に秋は、産卵のために遡上するサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設になっています。

(4) 利用者数

平成21年度の 111,315人

(5) 入場料 (平成22年度)

	個人	団体(20人以上)	障がい者	サポーター会員 (さーもんずカード)	賛助会員 法人券
大人	800円	640円	400円	1,000円	10,000円
高校生	500円	400円	250円	1,000円	
小学生・中学生	300円	200円	150円	500円	
幼児	無料	無料	無料	—	

※賛助会員法人券及びサポーター会員券(さーもんずカード)は、発行の日から1年間有効とする。

※賛助会員法人券による入館は、1回5名までとする。

(6) 開館 (期間中無休)

① 開館期間：1月9日～12月25日

② 開館時間：9:00～17:00

4 主催事業・主管事業 (平成21年度)

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣旨
サマースクール	8月4日 8月7日	千歳サケの ふるさと館	小学4～中学3 年生 44名	水族館宿泊型の体験学習会として、水族館の裏側体験や給餌体験、開館前準備としての水槽掃除体験、川で自ら採集した水生昆虫による子ども水族館づくりなどを行った。
サーモンスクール	10月11日	千歳サケの ふるさと館	小学4～中学3 年生 17名	サケに特化した学習会として水槽への親サケ搬入体験、サケの皮剥ぎとクラフト製作、サケの遡上観察、サケ採卵実習などを行った。
サタデースクール (全24回)	第2、第4 土曜日	千歳サケの ふるさと館	合計632名	サケや水生生物・自然環境・水族館など、各テーマに沿った体験教室、講習会を実施した。
土器ドキ体験教室	10月11日	千歳サケの ふるさと館	小学生～大人 32名	土器作り・火熾し・黒曜石の鏝を使った弓矢体験、土器を使ったサケ鍋と普通の鍋の味比べ体験を行った。

おさかな写生会	8月1日～30日	千歳サケのふるさと館	幼児～小学生 25名	ふるさと館内に展示している生き物の写生大会を実施。2作品が全道幼児・児童画コンクールで入賞した。
ちょっと大人のサケふるセミナー	9月5日	千歳サケのふるさと館	大人 41名	【千歳川上流域の「今」と「これから」を考える】と題して、さけ・ますセンター技術専門職員を講師に招き実施した。
ジュニア・リーダー講習会（全4回）	4月18日～2月28日	市民文化センター、恵庭青少年研修センター	小学5年生から 137名	子ども会の中心的な役割を果たすリーダーを育成し、地域の子どもの会活動の発展を図ることを目的に実施した。
シニア・リーダー研修会	3月20日 3月21日	北海道立青年の家（深川市）	シニア・リーダー 27名	シニア・リーダー自らが実施する各種行事や事業について、その企画立案・運営方法などを学ぶことを目的に実施した。
自然教室	8月10日～12日	国立大雪青少年交流の家、旭川科学館、栗山公園ファープルの森	小学4～中学3年生 38名	夏休みを有意義に過ごすとともに、集団生活と自然の豊かさを学ぶことを目的に、プラネタリウム見学や火山噴火と地震、昆虫観察を実施した。
事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣 旨
冬休みなんでも体験教室	1月10日～12日	国立日高青少年自然の家、苫小牧科学センター、円山動物園、白い恋人パーク	小学4～中学3年生 41名	冬休みを有意義に過ごすとともに、集団生活と様々な体験を通して知識を深めることを目的に、マグカップ絵付けの創作活動、クッキー作り、サ教室やソーラフィング等の屋外活動や、科学館での様々な体験学習や見学などを行った。
体験教室	3月25日	千歳サケのふるさと館	小学4年生～中学3年生 30名	食に関する体験と知識を高めることを目的に、本格的なパスタ・生キャラメル作りを実施した。
緑の村キャンプ大会	7月25日～8月2日	青葉公園ピクニック広場	地域子ども会会員とその父母及び小学4年生～中学3年生 121名	宿泊共同生活や野外活動、自然とのふれあいを通して青少年の健全育成を図ることを目的として実施した。
千歳の子どもクリスマスの集い	12月6日	鉄東コミュニティセンター	小中学生 82名	シニア・リーダーつばさが中心となり、学校や学年の異なる子ども達がクリスマスの集いを通して相互の親睦を深めることを目的に実施した。
ちとせっこ雪あそび	2月7日	サーモンパーク内イベント広場	小中学生 126名	子ども達の冬季の戸外での運動を促進し、雪中競技を通しての交流を図ることを目的として実施した。
水族館の大掃除	12月27日	千歳サケのふるさと館	小学生～大人まで 17名	館内の主に大型水槽の亚克力面や壁、床などの掃除や大水槽での潜水清掃(有資格者)など、水族館ならではの普段体験できない作業を実施した。
ハロウィンイベント	10月31日	千歳サケのふるさと館	幼児～大人延べ 220名	サーモンパーク内を仮装した子ども達とパレードし、館内ではシュシュ風ミサンガやジャックランタンやキャンディレイを作ってハロウィンにちなんだ1日を過ごした。
THE☆サケ・鮭	11月28日	千歳サケのふるさと館	幼児～大人延べ 115名	入館者を対象に鮭の日 11月11日にちなみ、普段体験できない鮭づくし(鮭にタッチ・人工イクラ作り・鮭クイズ・エサやり体験)のイベントを実施した。
水族館クリスマスイベント	12月23日～25日	千歳サケのふるさと館	幼児～大人延べ 212名	大水槽に潜水したサンタダイバーとの記念撮影、入館者のエサやり体験、プッシュ・ド・ノエル作り、キャンドルサービス、クイズラリーを実施した。
小菅正夫講演会	5月23日	市民文化センター	大人 150名	前旭山動物園園長の小菅正夫氏による「動物園・水族館の地域における役割について」と題した講演会を実施した。
サケと紅葉満喫ツアー	10月18日	石狩市内	小学生～大人 39名	市内旅行会社と提携し、当館学芸員が添乗員として同行して、石狩市のサケに関わる箇所をまわるツアーを実施した。

Ⅶ 社会体育

体育・スポーツは、本来、市民が自分のために自主的にその適性或健康状態に応じて行い楽しむものです。

近年、余暇の増大、生活環境の中で運動不足、都市化によるコミュニケーションの欠如などにより、あらためてスポーツのもつ重要性が認識されつつあります。

本市ではこうした状況から、「スポーツ都市宣言」をスローガンに、スポーツを愛しスポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、だれでも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめるよう、「体育施設の充実・整備」、「だれでも参加できるスポーツ行事」、「地域スポーツグループの育成援助」、「指導者の育成」等を行い、日常生活の中に体育・スポーツが定着し、これを楽しむことができるよう諸条件の整備に取り組み、さらには多様化する活動に対応した生涯スポーツの推進に努めています。

スポーツ都市宣言(昭和45年6月29日)

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

- 1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
- 2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
- 3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
- 4 スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

千歳市社会体育基本目標

「広げよう！ ふれあいの輪を」
たくましい心身を育むスポーツ、レクリエーションの推進

(社会体育具現目標)

- 1 スポーツを楽しみ進んでレクリエーションに参加する市民
- 2 自然に親しみ寒さに負けない体力づくりに励む市民
- 3 スポーツをとおして約束ごとを守る市民
- 4 スポーツをとおして友情を育むこころ豊かな市民
- 5 家庭ぐるみでスポーツやレクリエーションを楽しみ明るい地域づくりのできる市民

〔1〕社会体育事業（平成21年度）

事業名	開催月日	会場	対象	趣 旨
シニア卓球教室	4月	スポーツセンター	60歳以上 初心者 247名	卓球の初歩的技術を身につけラリーが続くことで楽しいと感じてもらい、教室終了後も引き続き仲間で競技を継続し心身の健康を維持し、また、卓球の普及拡大を図る
トランポリン教室 かつら	4月～5月	スポーツセンター	小学 4・5・6年生 276名	トランポリンは人間が空中に跳び上がりたいたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る
トランポリン教室 つつじ	9月	スポーツセンター	小学3年生 209名	
トランポリン教室 やませみ	10月	スポーツセンター	小学2年生 244名	
トランポリン教室 ひめます	10～11月	スポーツセンター	小学1年生 241名	
弓道教室	5月～6月	武道館	高校生以上 99名	弓道の基礎的な知識及び技能の概要を体得し、弓道の楽しさを理解すると共に健全な心身を養う。
バドミントン教室	6月	スポーツセンター	中学生以上 175名	バドミンントンのゲームを通して協力、協調の精神を理解させ、相互の親睦と健康の増進を図る
スナッグゴルフ	7月	遺跡公園 ほか	小学生以上 19名	ニュースポーツの楽しさを体験し、ゴルフ入門としての普及を図る
ジュニア卓球教室	7月～8月	スポーツセンター	小学生 198名	卓球の初歩的技術を身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身に付けさせる
4歳児教室	8月	スポーツセンター	4歳 (H17.4.2～ H18.4.1生) 148名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ
テニス教室	11～12月	スポーツセンター	社会人 324名	テニスの基礎的技術を身につけ、テニスの楽しさを理解し、テニスの普及を図る
幼児スケート教室	1月	青空公園 スケート リンク	5歳 (H16.4.2～ H17.4.1生) 156名	スケートを通して、幼児の心身の発達と集団生活に必要な協調性の習得を図ると共に、冬季においてスポーツを楽しむ習慣を養う
歩くスキー教室	1月	青葉公園内 麒麟ビール 工場敷地内	小学生以上 21名	寒冷地の冬を楽しく過ごすため、歩くスキーの普及を図る
5才児教室	3月	スポーツセンター	5歳 155名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ

（主催：財団法人千歳市体育協会）

〔2〕学校開放事業

学校体育施設（体育館、グラウンド）を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ています。

1 体育館

(1) 使用申込み

利用希望団体は、利用しようとする月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

(2) 開放期間・時間

開放期間 4月～3月 開放時間 平日 17:00～21:00
土・日・祝日・学校の休業日 9:00～21:00

(3) 開放学校

市内小中学校（東小学校を除く）

2 グラウンド

(1) 使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに教育委員会スポーツ課スポーツ施設係まで申し込む（受付：土・日・祝日を除く、9:00～17:00）

(2) 開放期間・時間

開放期間 5月～10月 開放時間 平日 5:00～7:00 17:00～19:00
土・日・祝日・学校の休業日 5:00～19:00

(3) 開放学校

市内小中学校（東小学校、北進小中学校除く）

3 利用状況

(1) 利用人数

年度	体育館	グラウンド	計
19	120,504人	57,106人	177,610人
20	119,400人	57,321人	176,721人
21	123,297人	56,529人	179,826人

(2) 種目別利用状況（平成21年度）

体育館種目別利用状況

種目	利用状況	種目	利用状況
バスケットボール	22.6%	ミニバレーボール	8.5%
フットサル	22.2%	バレーボール	8.3%
野球	8.8%	空手	6.3%
バドミントン	8.7%	その他	14.6%

グラウンド種目別利用状況

種目	利用状況
野球	72.6%
サッカー	27.4%

(3) 開放校及び開放期間

	体育館	グラウンド
学 校 名	(通年) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小・ 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小・北進小中・駒 里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・真町中 富丘中・北斗中・向陽台中	(5月～10月) 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・真町中 富丘中・北斗中・向陽台中

〔3〕社会体育施設

1 千歳市温水プール

(1) 施設の概要

所在地 千歳市流通3丁目1番9号 電話0123-49 - 7001
 開設 平成10年7月20日
 建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
 地上2階地下1階
 敷地面積 7,712.63 m²
 延床面積 3,643.751m²
 1階 2,766.254m²
 2階 572.920m²
 地階1 304.577m²



1階 プール、更衣室、待合ロビー、観覧ロビー、会議室
 2階 ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、空調機械室、電気室
 地階1 濾過機械室、機械監視室

(施設設備)

プール室 競泳プール（財団法人日本水泳連盟公認25m、8コース）
 流水プール（周回距離44.9m）
 幼児・低学年プール
 ウォータースライダー（滑走路全長101.04m）
 ジャグジー（2基）、寝湯（3人用）、採暖室、観覧席（119席）
 ロッカー室：ロッカー数550（男264人分、女270人分、多目的16人分）
 利用時間 通年 10：00～21：00
 休館：月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、整備期間（2月）

(2) 沿革

新千歳空港24時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成9年4月に着工、10年5月に完成し、開設準備を経て平成10年7月20日から供用開始しました。

施設は、財団法人日本水泳連盟公認25m競泳プール8コースと、101.04mウォータースライダーや周回44.9m流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えています。

(3) 運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努めています。

(4) 利用状況（21年度）

区分		延利用者数(人)
一般利用	未就学児	5,969
	小・中学生	15,530
	高校生	633
	一般	18,496
	65歳以上	8,608
	障がい者	7,084
	計	56,320

区分		延利用者数(人)
講習会	未就学児	4,577
	小・中学生	11,909
	一般	1,967
	計	18,453
その他の事業		2,365
専用利用		2,308
計		4,673

合計 79,446人

2 千歳市スポーツセンター

(1) 施設の概要

所在地 千歳市真町176番地の2 電話0123-22 - 1111
 開設 昭和53年7月1日
 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階
 敷地面積 20,699.99㎡
 建築面積 3,371.57㎡
 延床面積 1階 3,169.83㎡
 中2階 237.84㎡
 2階 1,667.34㎡
 合計 5,075.01㎡



《主要施設》

収容人員 2階固定席 890席、1階移動席 1,500席、立見席 500席
 アリーナ 1,680㎡ (42m×40m)
 バスケットボール (2面)、バレーボール (3面)、バドミントン (8面)
 テニス (2面)、卓球 (35台)、体力テスト
 第2体育館 432㎡ (16m×27m)
 バレーボール (1面)、バドミントン (3面)、卓球 (6台)、柔道・剣道
 トレーニング室 149.39㎡ ランニングマシン他20種29台
 幼児室 91.65㎡

(2) 沿革

昭和45年6月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基90周年・市制施行10周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定された。51年7月の着工以来、2か年の工事期間を経て、53年3月31日に完成、同年7月1日から供用開始しました。

(3) 運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努めています。

(4) 利用案内、利用状況

- ① 開館時間 午前 9:00~12:00 午後 13:00~17:00 夜間 18:00~21:00
- ② 休館日毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)、毎月最終金曜日の午前、年末年始
- ③ 利用状況 (平成21年度)

		区 分		延利用者数 (人)
個	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中高	11,153
			一般	12,780
		定期券	小中高	7
			一般	1,593
			計	25,533
人	トレーニング	当 日 券		2,938
		定 期 券		3,454
		計		6,392
	そ の 他			2,243
			合計	34,168
団 体	スポーツ			59,690
	そ の 他			5,821
	会 議			6,738
	計			72,249
総 計				106,417

3 千歳市開基記念総合武道館

(1) 施設の概要

所在地 千歳市あずさ1丁目3番1号 電話0123-22-2100
 開設 平成5年6月1日
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階
 敷地面積 28,037.47 m²
 建築面積 6,567.23 m²
 延床面積 7,298.64 m²



《主要室》

アリーナ 1,553m²
 剣道6面、柔道4面(公式)
 バレーボール3面(6人制)
 バドミントン10面
 剣道場 450m² 剣道2面
 柔道場 450m² 柔道2面
 弓道場 463m² 近的28m²×6人立
 トレーニング室 179m² ランニングマシン15種29台
 会議室 114.3m²
 観覧席 279m² 固定席約500席

(2) 利用案内、利用状況

- ① 開館時間 午前9:00～12:00 午後13:00～17:00 夜間18:00～21:00
- ② 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月最終金曜日の午前、年末年始
- ③ 利用状況(平成21年度)

区		分		延利用者数(人)
個	アリーナ 及び 武道場	当日券	小中高	12,738
			一般	15,489
		定期券	小中高	4,703
			一般	11,075
	小計			44,005
	人	トレーニング	当日券	4,217
定期券			7,071	
小計			11,288	
その他			729	
計				56,022
団体				73,193
				5,773
	計			78,966
総計				134,988

4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年 9:00～21:00 休館:月の第2,4月曜、月の最終金曜午前、年末年始	鉄骨造平屋建 1,014㎡ 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月～10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野 球	千歳市民球場	泉沢868番地の22(青葉公園内)	4月～10月	面積25,000㎡、両翼95m、センター120m、本塁～バックネット周19m
	青葉球場	真町2196番地の1(青葉公園内)		面積21,000㎡、両翼94.4m、センター111.369m、本塁～バックネット周20m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868㎡ 両翼70m、センター85m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475㎡
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870㎡、少年野球場1面
ソフト ボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月～10月	面積6,092㎡、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000㎡、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250㎡、ソフトボール場2面
ラグビー・ サッカー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月～10月	面積15,000㎡、
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000㎡
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800㎡
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914㎡
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894㎡
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月～11月	面積33,000㎡
庭 球 場	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月～10月	面積11,543㎡、人工芝、硬式7面、軟式5面
	上長都公園庭球場	上長都1051番地の19		面積1,404㎡、全天候型2面
	すみよし2号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380㎡、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800㎡、人工芝1面
	しゅくふ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積300㎡、人工芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積300㎡、人工芝1面
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
水泳プール	青葉水泳プール	真町 176 番地の 3	6 月下旬～ 9 月上旬 10:00～17:00	コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×10.7m、5 コース深度 1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄 1 丁目 10 番 3 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出 2 丁目 3 番 6 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース 深度 1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘 2 丁目 6 番 3 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘 824 番地の 30		アルミ(上屋付) 20m×9m、3 コース、深度 0.9m～1.1m
	長都水泳プール	長都 42 番地の 1		ステンレス DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	北斗水泳プール	北斗 5 丁目 1 番 1 号		アルミ DN シート張(上屋付) 24m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草 5 丁目 3 番地		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃 2 丁目 34 番 12 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里 945 番地		F R P(上屋付) 25m×7.82m、3 コース深度 1.1m～1.2m
北陽水泳プール	北陽 3 丁目 9 番 1 号	F R P(上屋付) 25m×10.2m、4 コース深度 1.1m～1.4m		
スケート	青空公園スケート場	あずさ 1 丁目 1096 番地	12 月～2 月 9:00～20:00	面積 8,628 m ² 、1 周 400m公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出スケート場	日の出小学校	1 月～2 月 8:30～16:00	1 周約 200m
	祝梅スケート場	祝梅小学校		1 周約 180m
	高台スケート場	高台小学校		
	向陽台スケート場	向陽台小学校		
	信濃スケート場	信濃小学校		
	桜木スケート場	桜木小学校		
	北栄スケート場	北栄小学校		
	千歳スケート場	千歳小学校		
	緑スケート場	緑小学校		
	北陽スケート場	北陽小学校		
	千歳第二スケート場	千歳第二小学校		
泉沢スケート場	泉沢小学校	1 周約 140m		
支笏湖スケート場	支笏湖小学校			
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢 1017 番地の 7	12 月～3 月 9:00～17:00 ナイター期間中 9:00～21:00	面積 52,000 m ² 、管理棟 175 m ² 、 標高差 48m、最大斜度 27 度、 降滑長 250m キャリヤーエース 1 基
	歩くスキーコース	青葉公園	12 月～3 月	歩くスキークラシカルコース 3.2km、 フリースタイルコース 7.2km、冬期間 のウォーキングコース 3.2km

VIII 教育委員会議の開催状況

平成21年度における教育委員会議の開催状況

回数	開催日	議 案
1	平成21年1月30日	教職員の処分の内申について
2	平成21年2月25日	平成21年千歳市第1回定例会教育行政方針及び教育行政報告について ほか
3	平成21年3月10日	小中学校校長及び教頭の異動内申について ほか
4	平成21年3月24日	千歳市学校管理規則の一部を改正する規則の制定について ほか
5	平成21年4月7日	北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について
6	平成21年4月27日	千歳市奨学生選考委員会委員の任命及び委嘱について ほか
7	平成21年5月26日	千歳市学校評議員の委嘱について ほか
8	平成21年6月5日	報告事項等のみ
9	平成21年6月24日	千歳市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について ほか
10	平成21年7月16日	千歳市学校教育センター運営審議委員の委嘱について
11	平成21年8月6日	平成22年度から使用する中学校用教科用図書の採択について ほか
12	平成21年9月16日	千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について ほか
13	平成21年10月1日	教育委員会委員長の選挙について ほか
14	平成21年11月20日	千歳市埋蔵文化財センター条例の制定について ほか
15	平成21年12月17日	私立幼稚園の設置に関する意見について

千歳市の教育

(平成 22 年度)

平成 22 年 10 月発行

発行・編集 千歳市教育委員会
